

# 市内遺跡調査報告書

—令和2年度試掘調査・工事立会—

令和8年3月

一関市教育委員会



## 序

一関市には、900を超える埋蔵文化財包蔵地が所在しています。市内で行われる開発行為が埋蔵文化財包蔵地の範囲内で実施される場合には、事業者と協議し、試掘調査や工事立会を実施しています。その中で遺構・遺物を確認した場合には、緊急発掘調査を実施することを通じて、埋蔵文化財の保護を行っています。

しかし、そうした調査を報告書という形で記録を残すことについては、完全に実施できていたわけではありませんでした。そこで、今回は令和2年度に実施した試掘調査の記録を報告書にまとめることといたしました。これまで市教育委員会が実施してきた調査内容を後世に伝え、埋蔵文化財の保護をさらに推進していきたいと考えております。

本報告書により、調査成果を広く公開し、市民並びに全国の方々にも当市の文化財を知って頂き、関心が高まることを期待するとともに、地域のルーツを紐解いていくことが、より良い地域づくりの一助になれば望外の喜びです。

結びに、調査に際してご協力を頂きました地権者、地域住民の皆さまをはじめ多くの方々に衷心より感謝を申し上げます。

令和8年3月

一関市教育委員会

教育長 時 枝 直 樹



## 例 言

1. 本書は、岩手県一関市教育委員会が令和2年度に実施した市内遺跡試掘調査及び工事立会の報告書である。
2. 試掘調査は、国庫補助事業及び県補助事業を活用した。
3. 調査主体は、一関市教育委員会 教育長 小菅正晴（令和2年度）であり、現地調査は文化財課が担当した。また、岩手県教育委員会の協力を得た。

4. 調査体制は以下のとおり。

（令和2年度）

一関市教育委員会 文化財課	教育部次長兼課長	千葉 浩
	文化財係長	金野 修
	主任学芸員	菅原 孝明
	文化財調査研究員	光井 文行
		小澤 絵美（～7月）
		阿部 充（9月～）
	会計年度任用職員	小岩 誠也

5. 本書の作成は令和7年度の文化財課が行った。体制は以下のとおりである。

一関市教育委員会事務局文化財課	副参事兼課長	氏家 克典
	課長補佐兼文化財係長	西山 亜希恵
	学芸主任主査	菅原 孝明
	文化財調査研究員	千葉 孝弥
		菅原 わかな
	会計年度任用職員	小岩 誠也

6. 本書に使用した地形図は、一関市長の承認を得て、測量成果を使用したものである。

（許可番号 令和8年2月27日 政第11011号）

7. 本書図1・2に使用した地形図は、国土地理院の50000分の1の地形図（平成7年作成）「焼石岳」、「水沢」、「陸中大原」、「栗駒山」、「一関」、「千厩」、「岩ヶ崎」、「若柳」、「志津川」を合成して作成した。

8. 土層断面図の土色表示は、新版標準土色帖2002年度版（日本色研事業株式会社）を用いている。

# 目 次

序 .....	1
例言 .....	3
目次 .....	4
試掘調査・工事立会位置図 .....	5
令和2年度届出一覧表 .....	7
I 試掘調査 .....	9
1 枳倉館遺跡	
2 本木・地の神Ⅱ遺跡	
3 新一関市立室根小学校用地	
4 西光寺裏遺跡	
5 骨寺村莊園遺跡	
6 大平遺跡	
7 薄衣城遺跡（米倉館遺跡）	
8 板倉遺跡	
9 源八遺跡	
10 物見石Ⅱ遺跡	
II 工事立会 .....	30
1 臥牛館遺跡（伏牛館遺跡）	
2 小石名沢古館遺跡	
3 小石名沢古館遺跡	
4 千厩城遺跡（茶臼館遺跡）	
5 月町遺跡	
6 七郎五郎遺跡	
7 骨寺村莊園遺跡	
8 野中遺跡	
9 大洞地遺跡	
10 畑中Ⅳ遺跡	
11 内館遺跡（松川城遺跡・久瑠美館遺跡）	



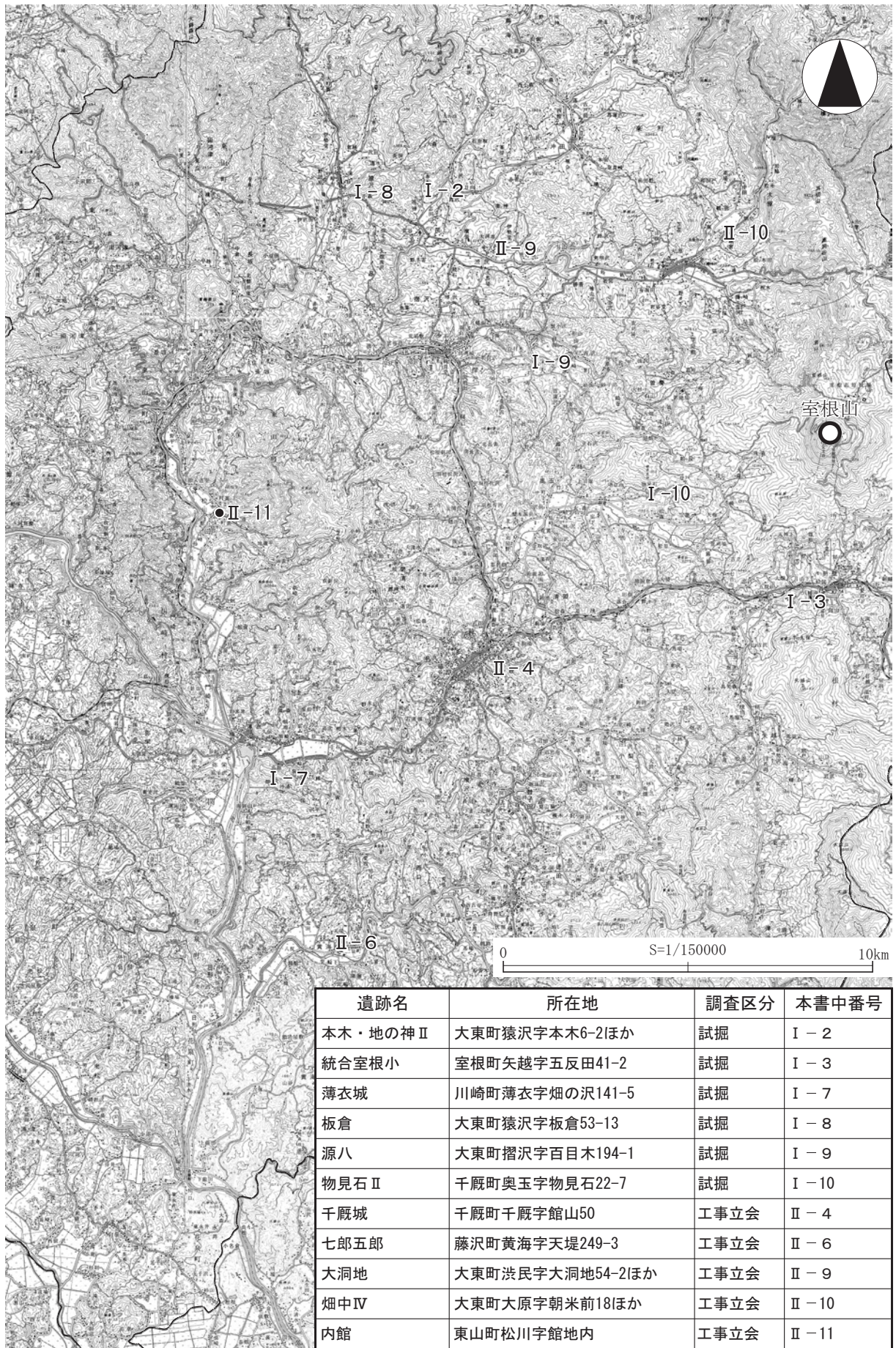


図2 遺跡地図(2)

遺跡名	時代	種類	所在地(計画地)	工事内容	届出者	届出日	指示事項	対応結果
1 埋蔵文化財包蔵地外	-	-	一関市室根町矢越字五反田 41-2	新室根小学校校舎等建設工事	一関市長	2. 4. 10	試掘調査	影響なし。
2 八丁館	中世	城館跡	一関市大東町摺沢字但馬崎 64-8、64-12	個人住宅新築工事及び地盤補強工事	個人	2. 4. 24	発掘調査	遺構発見。 令和2年度発掘調査実施。
3 臥牛館(伏牛館)	中世	城館跡	一関市山目字館 46-1	磐井中学校グラウンド埋設基礎撤去工事	一関市長	2. 5. 13	工事立会	影響なし。
4 本木地の神Ⅱ	縄文	散布地	一関市大東町猿沢字本木 6-2、9-6、33、35-1	土砂採取工事	株式会社山友建設	2. 5. 13	発掘調査	遺構発見。 令和3年度発掘調査実施。
5 埋蔵文化財包蔵地外	-	-	一関市狐禅寺草ヶ沢 36-188、36-189、36-191、36-254	土砂採取事業	株式会社イチサイ	2. 6. 10	分布調査	遺跡の可能性なし。
6 埋蔵文化財包蔵地外	-	-	一関市狐禅寺草ヶ沢 36-37、36-90、165-5、165-25、195-12、195-16、227-23、228、243-1、243-3	採石事業	株式会社イチサイ	2. 6. 15	分布調査	遺跡の可能性がある場所を掘削しない。
7 千厩城(茶臼館)	中世	城館跡	一関市千厩町千厩字館山 50	公共下水道接続工事、既存浄化槽撤去工事	一関市長	2. 6. 17	工事立会	影響なし。
8 野中	縄文	散布地	一関市赤荻字松木 231-2	既存住宅解体及び個人住宅新築工事	個人	2. 6. 23	工事立会	影響なし。
9 東中沢	平安	散布地	一関市千厩町千厩字草井沢 60-20 ほか	下水道管理設工事	一関市長	2. 6. 29	工事立会	影響なし。
10 小石名沢古館	中世	城館跡	一関市山目字三反田 212-2、212-4	既存住宅解体及び個人住宅新築工事	個人	2. 6. 3	工事立会	影響なし。
11 七郎五郎	縄文	散布地	一関市藤沢町黄海字天堯 249-3	既存住宅解体及び個人住宅新築工事	個人	2. 6. 8	工事立会	影響なし。
12 西光寺裏	縄文	散布地	一関市萩荘字中町 73-1	個人住宅新築工事	個人	2. 7. 17	試掘調査	遺構発見。 令和3・4年度発掘調査実施。
13 鶏沢	縄文	散布地	一関市千厩町小梨字鶏沢 128-1	太陽光パネル設置工事	個人	2. 7. 18	試掘調査	現地確認の結果、試掘調査せず慎重工事。
14 小石名沢古館	中世	城館跡	一関市山目字三反田 73-3	既存住宅解体及び個人住宅新築工事	個人	2. 7. 27	工事立会	影響なし。
15 月町	平安	散布地	一関市赤荻字月町 63-3 地先	下水道管理設工事	一関市長	2. 7. 27	発掘調査	遺構発見。 令和2年度発掘調査実施。
16 埋蔵文化財包蔵地外	-	-	一関市狐禅寺草ヶ沢 36-117	土砂採取事業	株式会社イチサイ	2. 7. 6	分布調査	一部再調査必要。
17 骨寺村莊園	中世	莊園	一関市巖美町字駒形 87	浄化槽設置工事	個人	2. 8. 11	試掘調査	慎重工事。
18 埋蔵文化財包蔵地外	-	-	一関市狐禅寺草ヶ沢 36-37、227-23	土石採取事業	株式会社イチサイ	2. 9. 23	試掘調査	影響なし。

表1 令和2年度届出一覧表(1)

遺跡名	時代	種類	所在地(計画地)	工事内容	届出者	届出日	指示事項	対応結果
19 埋蔵文化財包蔵地外	-	-	一関市萩荘字鈴ヶ沢71-1ほか	砂利採取事業	株式会社甲南	2.10.1	分布調査	遺跡の可能性なし。
20 大洞地	縄文	散布地	一関市大東町法民字大洞地54-2、54-4、54-9、55-1	水路設置工事	一関市長	2.10.19	工事立会	影響なし。
21 畑中IV	縄文	散布地	一関市大東町大原字朝米前18、字杉本31、字上大原下160、196	歩道設置工事	一関市長	2.10.19	工事立会	影響なし。
22 大平	縄文平安	散布地	一関市狐禅寺字大平125-4、126	土地造成工事	個人	2.10.22	試掘調査	慎重工事。
23 薄衣城(米倉館)	中世	城館跡	一関市川崎町薄衣字畑の沢141-5、字古館168	は場整備事業	県南広域振興局	2.11.12	試掘調査	遺物・遺構確認。協議中。
24 内館(松川城・久留美館)	中世	城館跡	一関市東山町松川字館68-6	道路設置工事	一関市長	2.11.20	工事立会	影響なし。
25 板倉	縄文	散布地	一関市大東町猿沢字板倉53-13	携帯無線基地局建設工事	楽天モバイル株式会社	2.11.9	試掘調査	慎重工事。
26 埋蔵文化財包蔵地外	-	-	一関市萩荘字枳倉南58、60-4	(仮称)一関メガソーラー2期計画	Ichinoseki2合同会社	2.12.23	分布調査	一部試掘調査必要。
27 沖野々	縄文	散布地	一関市巖美町字宿65-2	携帯電話基地局設置工事	楽天モバイル株式会社	3.2.22	工事立会	影響なし。
28 源八	縄文	散布地	一関市大東町摺沢字百目木194-1	太陽光発電設備設置工事	株式会社ハウスプロデュース	3.2.3	試掘調査	慎重工事。
29 物見石II	縄文	散布地	一関市千厩町奥玉字物見石22-7	太陽光発電設備設置工事	株式会社旭テクノロジー	3.2.5	試掘調査	慎重工事。
30 西郷ノ目	縄文	散布地	一関市花泉町花泉字西郷ノ目11-2、11-3、11-5	金流川防災事業施工に伴う家屋移転	県南広域振興局	3.3.29	試掘調査	令和3年度試掘調査実施。
31 埋蔵文化財包蔵地外	-	-	一関市室根町折壁字愛宕下23～78地内	工場建設(造成工事含む)	株式会社オヤマ	3.3.29	試掘調査	令和3年度試掘調査実施。

表1 令和2年度届出一覧表(2)

# I 試掘調査

## 1 枋倉館遺跡

- (1) 所在地 一関市萩荘字八森95-1
- (2) 調査期日 令和2年4月30日
- (3) 担当者 光井文行、小澤絵美
- (4) 遺跡の種類 城館跡（中世末）
- (5) 遺跡の現状 山林、原野
- (6) 工事主体者 株式会社ビルドコーポレーション
- (7) 工事の目的 太陽光パネル設置工事
- (8) 調査方法 対象地は枋倉館遺跡の南東部に位置しており、その南側の山林に1.4m×10.0mのトレンチを3か所、北側の原野（埋立の造成地）に1.4m×3.0mのトレンチを2か所設定し、地山面で遺構検出作業を実施した。
- (9) 調査面積 50.4㎡（対象面積1,800㎡）
- (10) 調査結果 山林部分は地表から約20cm下で地山を検出したが、原野部分は埋め立てて造成された地盤であり、地表から約1.5m下で地山を検出した箇所もあるが、深いところでは埋め土の厚さが2～5mに及ぶところもあった。遺構・遺物は発見できなかった。
- (11) 取り扱い 遺構・遺物は発見できなかったため、5月11日付埋蔵文化財発掘の届出を受理し、7月7日付教文第04007号文書により慎重工事の実施を指示した。



図3 枋倉館試掘調査位置図

T2

I
II
III

### トレンチ2

I層 10YR3/3 暗褐色粘土質シルト。しまりなし。粘性あり。表土。層厚7cm。

II層 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土質。しまりなし。粘性あり。層厚10cm。

III層 10YR6/4 にぶい黄褐色粘土質。ややしまりあり。粘性強い。灰白色(10YR8/2)粘土質のブロックをやや多く含む。地山。

### トレンチ5

I層 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト。しまりなし。やや粘性あり。直径10～20cm大の亜角礫、亜円礫を多く含む。層厚30cm。

T5

I
II
III
IV



写真1 平成28年航空写真

II層 10YR5/1 褐灰色粘土質シルト。ややしまりあり。やや粘性あり。直径3～10cmの亜角礫を多く含む。黄褐色（10YR5/6）砂質土の小ブロックを少量含む。層厚50cm。  
 III層 10YR4/1 褐灰色粘土質シルト。ややしまりあり。やや粘性あり。層厚70cm。  
 IV層 10YR4/3 におい黄褐色粘土質シルト。ややしまりあり。粘性あり。地山。



図4 枳倉館トレンチ配置図



写真2 トレンチ掘削状況

## 2 本木・地の神Ⅱ遺跡

- (1) 所在地 一関市大東町猿沢字本木6-2、9-6、33、35-1
- (2) 調査期日 令和2年4月7日～4月23日
- (3) 担当者 光井文行、小澤絵美
- (4) 遺跡の種類 散布地（縄文）
- (5) 遺跡の現状 山林
- (6) 工事主体者 株式会社山友建設
- (7) 工事の目的 土石採取
- (8) 調査方法 対象地は本木遺跡南西部の隣接地からその南側の地の神Ⅱ遺跡の北西部に及んでおり、その丘陵先端の地形に合わせ、幅2.0m、長さ7.0～12.0m及び28.0mのトレンチを20か所設定し、地山面で遺構検出作業を実施した。
- (9) 調査面積 約400㎡（対象面積7,695㎡）
- (10) 調査結果 地表下約50cmで風化した花崗岩層（真砂土）の地山となっており、その北東部で竪穴建物跡や土坑、南端部で木炭窯を発見した。
- (11) 取り扱い 遺構の発見により、その扱いについて事業者側と協議を行った。工事計画が変更できないことから5月13日付埋蔵文化財発掘の届出を受理し、5月14日付教文第02013号文書により工事着手前の発掘調査の実施を指示した。記録保存を目的とした発掘調査は令和3年7月に実施した（一関市教育委員会2024『岩手県一関市埋蔵文化財発掘調査報告書第38集本木・地の神Ⅱ遺跡発掘調査報告書 土石採取事業に伴う発掘調査』）。

### トレンチ2

- I層 10YR3/2 黒褐色シルト。しまりなし。粘性なし。表土。層厚15～20cm。
- II層 10YR3/2 黒褐色シルト。ややしまりあり。粘性なし。層厚15～20cm。
- III層 10YR5/6 黄褐色粘土質シルト。ややしまりあり。やや粘性あり。直径7～12cmの垂円礫を少量含む。地山。層厚15～30cm。
- IV層 10YR7/4 におい黄褐色砂質。しまりなし。粘性なし。地山（風化した花崗岩層）。



図5 本木・地の神Ⅱ試掘調査位置図



写真3 平成28年航空写真

T2

I
II
III
IV

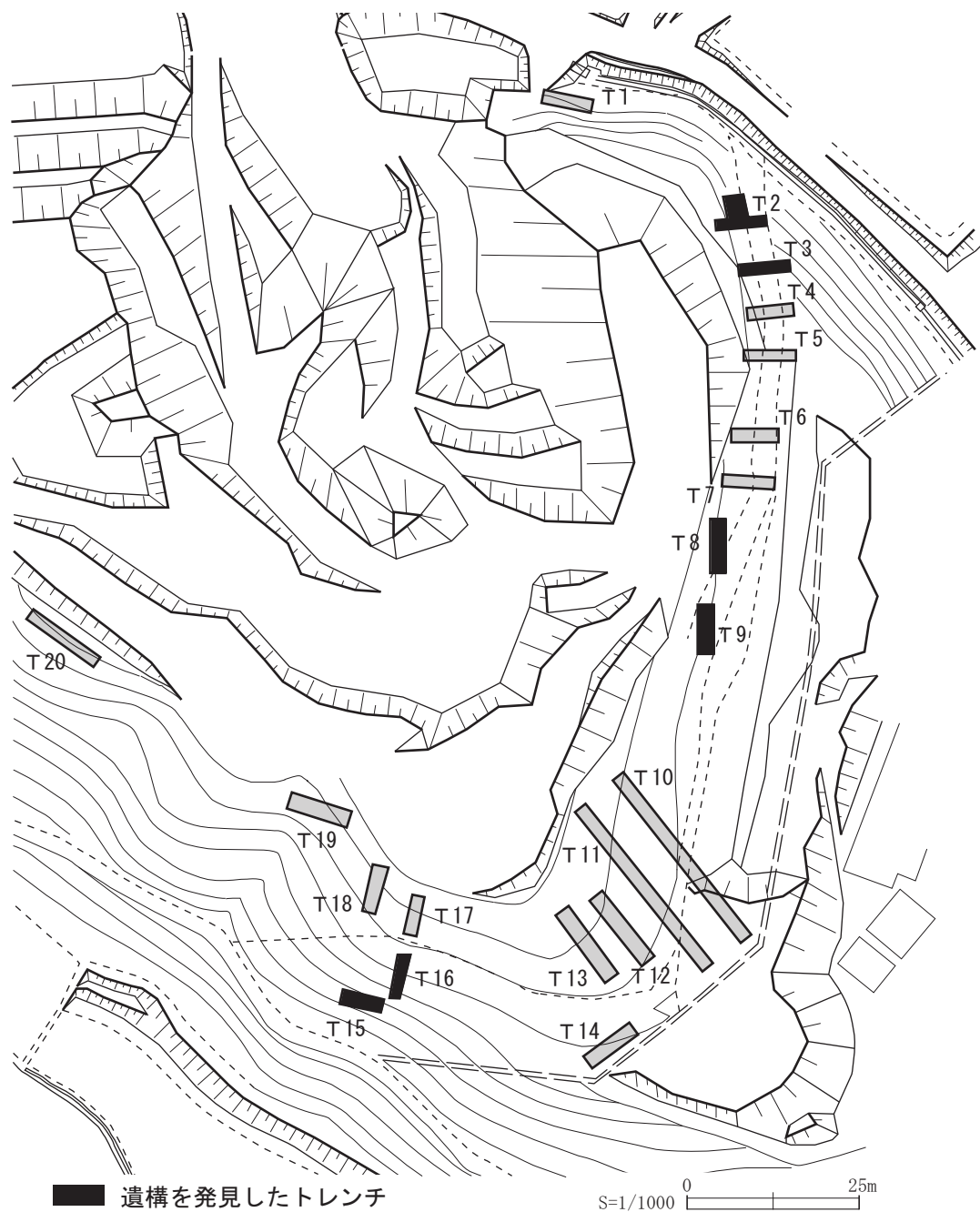


図6 本木・地の神Ⅱトレンチ配置図



写真4 トレンチ掘削状況



写真5 調査区遠景

### 3 新一関市立室根小学校用地

- (1) 所在地 一関市室根町矢越字五反田41-2
- (2) 調査期日 令和2年4月27日
- (3) 担当者 光井文行、小澤絵美
- (4) 遺跡の種類 埋蔵文化財包蔵地外
- (5) 遺跡の現状 学校
- (6) 工事主体者 一関市長（都市整備課）
- (7) 工事の目的 新一関市立室根小学校校舎等建設工事
- (8) 調査方法 対象地北西部の平坦地に幅1.4m、長さ4.0mのトレンチを5か所設定し、地山面で遺構検出作業を実施した。
- (9) 調査面積 28.0㎡（対象面積1,694.92㎡）
- (10) 調査結果 対象地区北西部の平坦地は厚い盛土で覆われ、その南側（校庭）は一段低く造成されている。全体に地形が改変されていると考えられ、遺構・遺物は発見できなかった。
- (11) 取り扱い 試掘調査で遺構・遺物が発見できず、埋蔵文化財包蔵地でもないことから、5月1日付教文第02001号文書による試掘調査の回答をもって、埋蔵文化財の手続きを終了した。

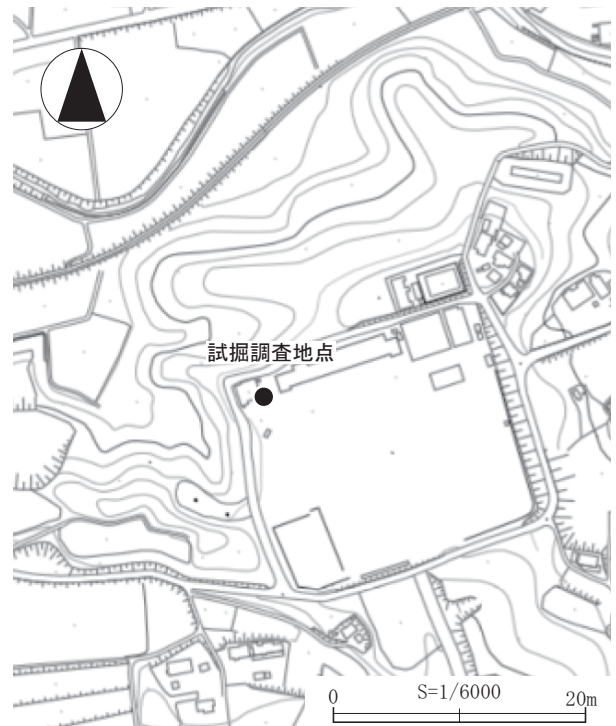


図7 新一関市立室根小学校用地試掘調査位置図

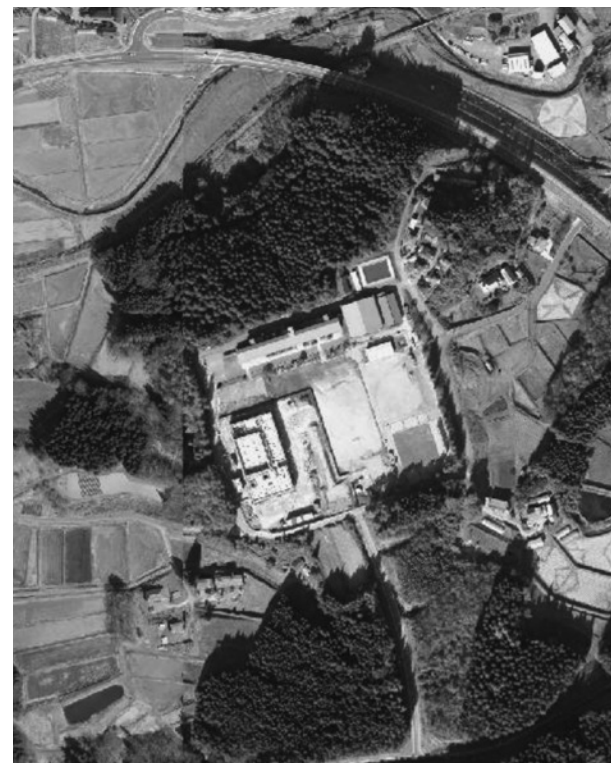


写真6 令和元年航空写真

T2	T4	トレンチ2
I	I	I層 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト。しまりなし。粘性なし。表土。層厚 30 cm。
II a	II	II a層 10YR5/3 にぶい黄褐色質シルト。しまりなし。粘性なし。層厚 20 cm。
II b		II b層 10YR4/3 にぶい黄褐色質シルト。しまりなし。粘性なし。直径 6 ~ 10 cm の垂角礫を多く含む。層厚 20 cm。
III		III層 10YR8/4 浅黄橙色。砂質。固くしまる。粘性なし。地山(風化した花崗岩層)。
トレンチ4		
I層 碎石層。層厚 30 cm。		
II層 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト。しまりなし。粘性なし。攪乱層 (1.0 m掘り下げ)。		

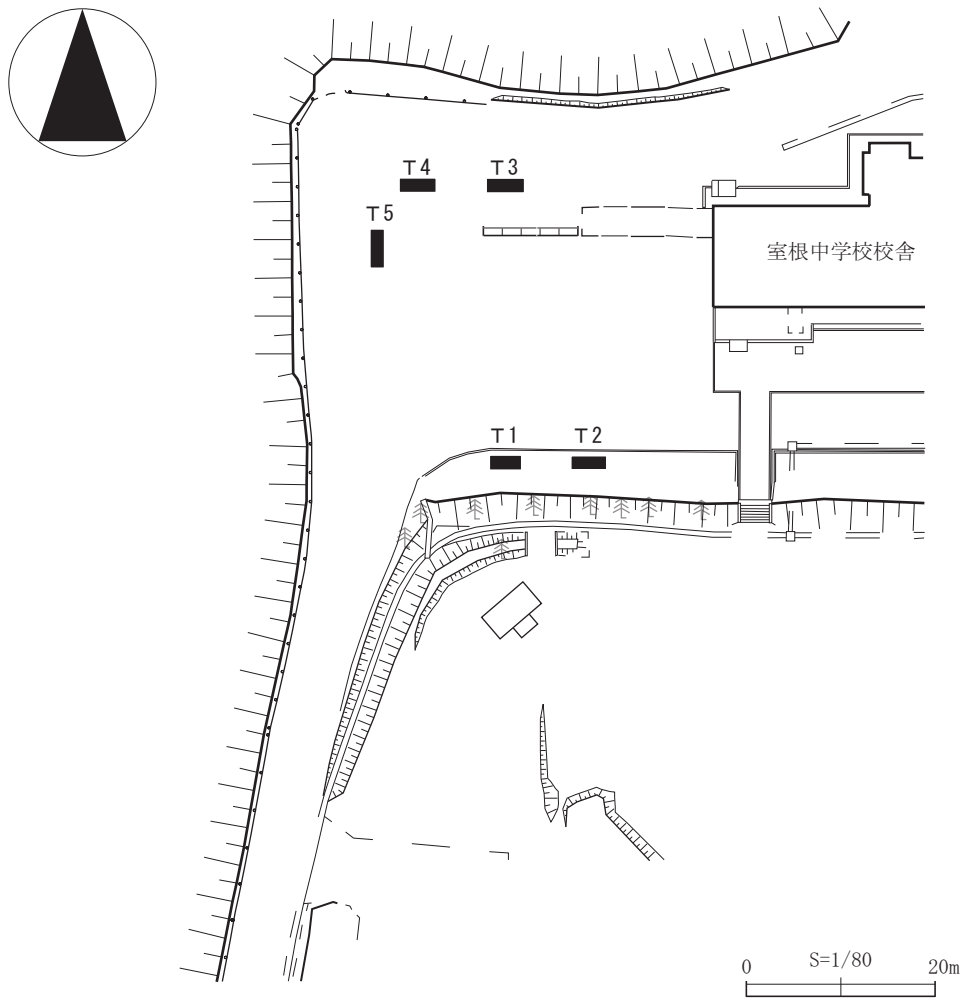


図8 新一関市立室根小学校用地トレンチ配置図



写真7 調査風景



写真8 トレンチ掘削状況

## 4 西光寺裏遺跡

- (1) 所在地 一関市萩荘字中町73-1
- (2) 調査期日 令和2年8月7日
- (3) 担当者 光井文行
- (4) 遺跡の種類 散布地（縄文）
- (5) 遺跡の現状 宅地
- (6) 工事主体者 個人
- (7) 工事の目的 個人住宅新築工事
- (8) 調査方法 対象地は西光寺裏遺跡の南端部に位置する。部幅1.2mのトレンチを専用住宅部分に3か所、カーポート部分に1か所設定し、地山面で遺構検出作業を実施した。
- (9) 調査面積 25.2㎡（対象面積150㎡）
- (10) 調査結果 専用住宅部分に設定したトレンチから竪穴遺構1基、柱穴60口を検出し、複数の掘立柱建物の存在を確認した。
- (11) 取り扱い 遺構の発見により、その扱いについて事業者側と協議を行ったが、工事計画が変更できないことから、8月7日付教文第05005号文書により工事着手前の発掘調査の実施を指示した。10月12日付埋蔵文化財発掘の届出を受理し、10月13日付教文第07004号文書によって改めて発掘調査を指示した。発掘調査は令和3年10月から12月、令和4年7月から11月と2回に分けて実施した（一関市教育委員会2023『岩手県一関市埋蔵文化財発掘調査報告書第36集西光寺裏遺跡発掘調査報告書 個人住宅新築工事に伴う発掘調査』）。



図9 西光寺裏試掘調査位置図



写真9 令和元年航空写真

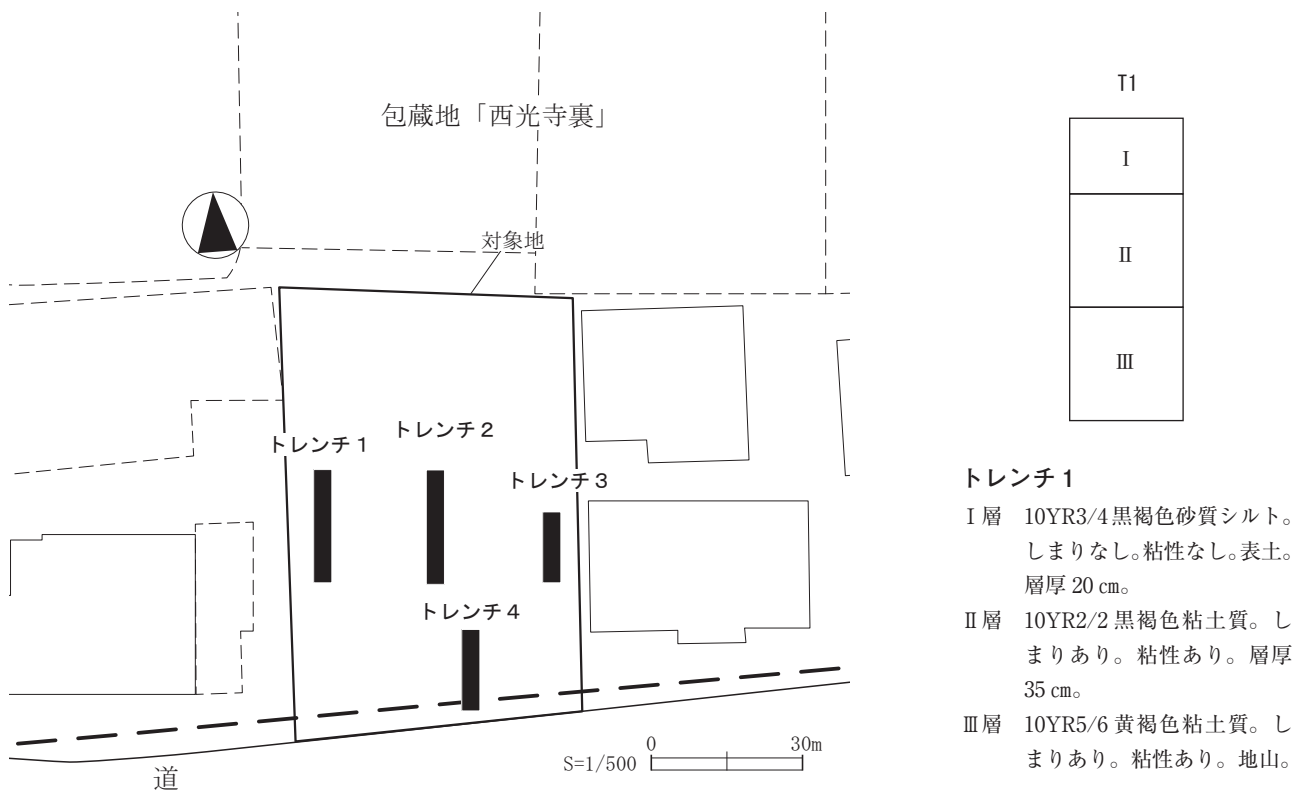


図10 西光寺裏トレンチ配置図



写真10 調査開始前の状況



写真11 調査風景



写真12 遺構検出状況



写真13 遺構検出状況

## 5 骨寺村荘園遺跡

- (1) 所在地 一関市巖美町字駒形87
- (2) 調査期日 令和2年9月4日
- (3) 担当者 光井文行、阿部充
- (4) 遺跡の種類 その他の遺跡(荘園)(縄文、平安、中世、近世、近代)
- (5) 遺跡の現状 宅地
- (6) 工事主体者 個人
- (7) 工事の目的 浄化槽設置工事
- (8) 調査方法 対象地は骨寺村荘園遺跡のおおよそ中央部に位置する。対象地の1.5m×3.0mの範囲を重機で掘り下げて遺構検出作業を実施した。
- (9) 調査面積 28㎡(対象面積28.6㎡)
- (10) 調査結果 遺構・遺物は発見できなかったが、対象地北側は本寺川をはさんで水田が広がる低湿地であり、調査区でも表土下約50cmが地山の砂層になっているという地形に関わる情報が得られた。
- (11) 取り扱い 遺構・遺物は発見できなかったため、9月11日付埋蔵文化財発掘の届出を受理し、9月11日付教文第06007号により慎重工事の実施を指示した。



図11 骨寺村荘園試掘調査位置図



写真14 令和元年航空写真

I
II
III

- I層 10YR2/2 黒褐色シルト。しまりなし。粘性なし。表土。層厚 40 cm。
- II層 10YR2/1 黒色粘土質シルト。やや粘性あり。直径5～10 cmの小石を少量含む。層厚 20 cm。
- III層 10YR4/4 褐色砂質。しまりあり。粘性なし。直径1～2 cmの小石を多く含み、直径5～10センチの小円礫も少量含む。地山。

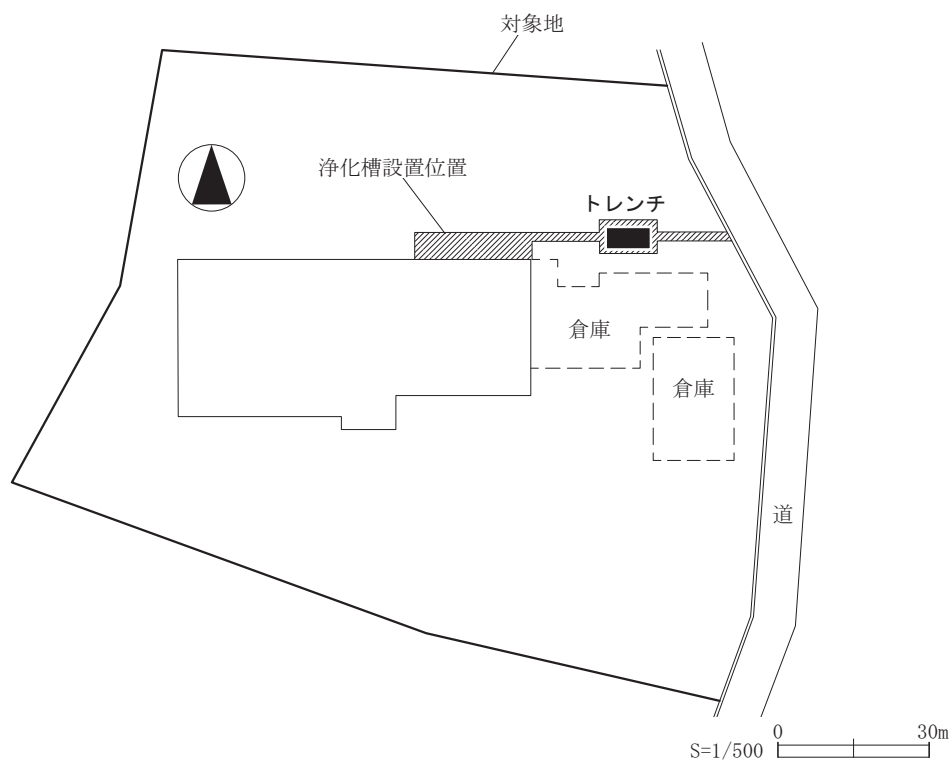


図12 骨寺村荘園トレンチ配置図



写真15 調査開始前の状況



写真16 調査風景



写真17 トレンチ掘削状況



写真18 トレンチ内土層堆積状況

## 6 大平遺跡

- (1) 所在地 一関市狐禅寺字大平125-4
- (2) 調査期日 令和2年11月9日
- (3) 担当者 光井文行
- (4) 遺跡の種類 散布地（縄文、平安）
- (5) 遺跡の現状 原野
- (6) 工事主体者 有限会社東西不動産ホーム
- (7) 工事の目的 草地造成
- (8) 調査方法 対象地は大平遺跡南東部に位置する隣接地である。丘陵南斜面に幅2m、長さ10mのトレンチと、幅2m、長さ4mのトレンチを設定して遺構検出作業を実施した。
- (9) 調査面積 28㎡（対象面積280㎡）
- (10) 調査結果 表土下0.8mまで掘り下げたが、堆積土はしまりのない砂の堆積であり、遺構・遺物は発見できなかった。南側の道路建設の際、地形が削平された可能性がある。
- (11) 取り扱い 遺構・遺物は発見できなかったため、11月25日付埋蔵文化財発掘の届出を受理し、11月25日付教文第08017号により慎重工事の実施を指示した。

T1

I	トレンチ1 I層 10YR6/4にぶい黄橙色。砂質。しまりなし。粘性なし。直径約2cmの灰黄褐色（10YR6/2）のパミスを少量含む。層厚30cm。
II	II層 10YR5/6黄褐色。砂質。ややしまりあり。粘性なし。にぶい黄橙色（10YR7/2）粘土質シルトのブロックを含む。層厚25cm。
III	III層 5G6/1緑灰色。砂質。しまりなし。粘性なし。

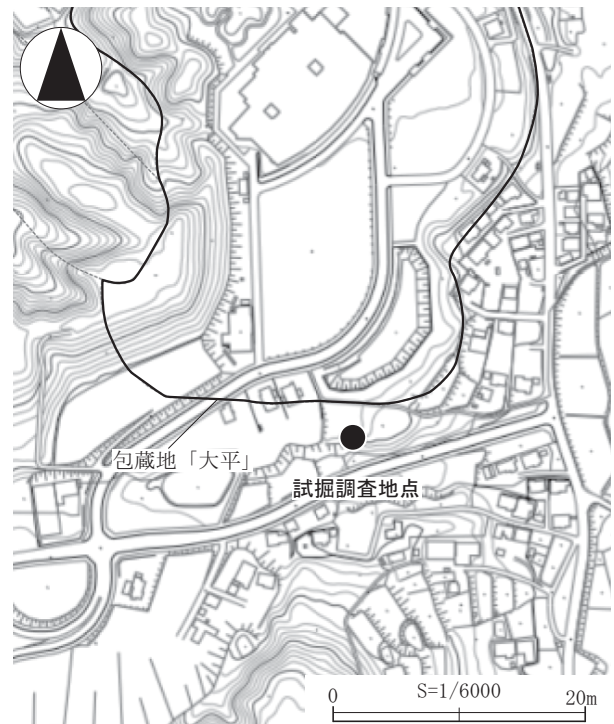


図13 大平試掘調査位置図

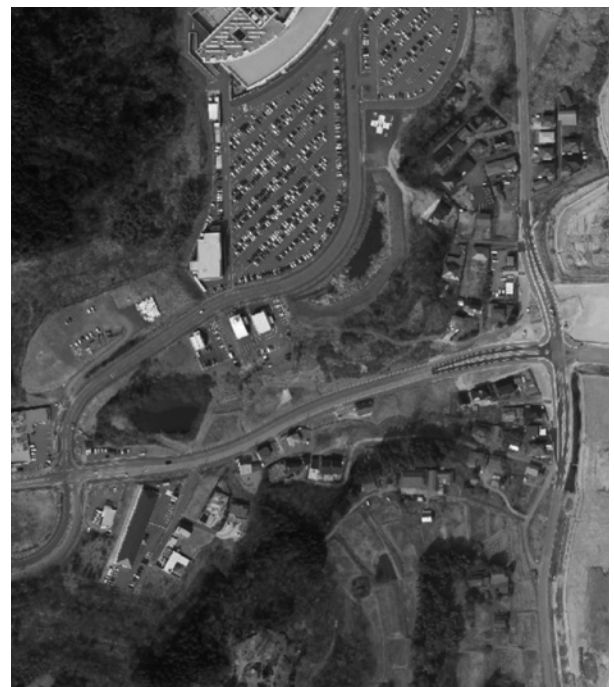


写真19 令和元年航空写真

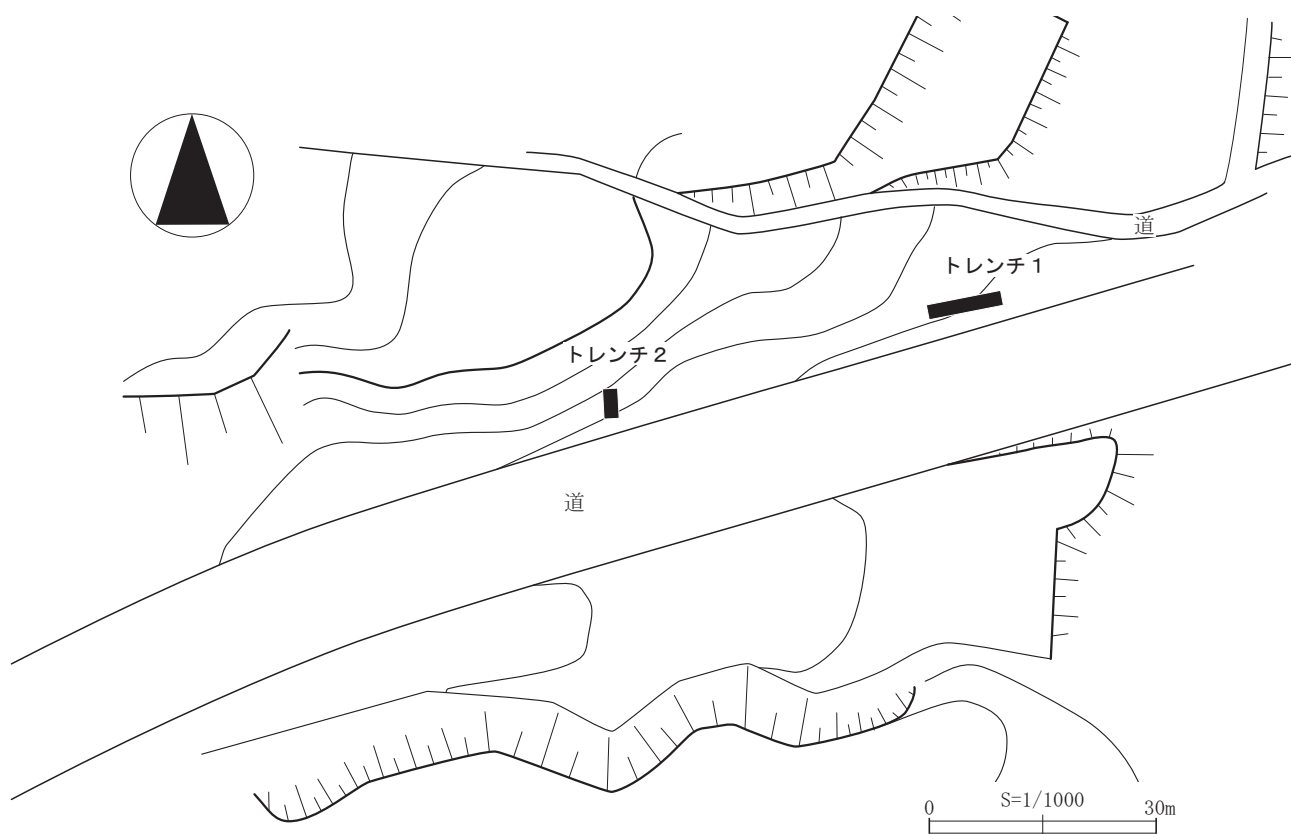


図14 大平トレンチ配置図



写真20 調査風景

## 7 薄衣城遺跡（米倉館遺跡）

- (1) 所在地 一関市川崎町薄衣字畑の沢141-5、  
字古館168
- (2) 調査期日 令和2年12月9日、12月11日
- (3) 担当者 光井文行
- (4) 遺跡の種類 城館跡（中世）
- (5) 遺跡の現状 水田
- (6) 工事主体者 県南広域振興局農政部一関農村整備センター
- (7) 工事の目的 農地中間管理機構関連農地整備事業
- (8) 調査方法 対象地は薄衣城遺跡の南西部に位置する。そのうち市指定史跡の範囲内に幅約2m、長さ5～14mのトレンチを6か所設定し、地山面で遺構検出作業を実施した。
- (9) 調査面積 104㎡（対象面積1,650㎡）
- (10) 調査結果

東端部を除くすべてのトレンチから竪穴状遺構4基、カマド状遺構1基、土坑1基、柱穴20口以上の遺構を発見し、土師器や須恵器など古代の遺物が出土した。土師器はロク口調整を行ったものが多く、須恵系土器も出土しているなど、10世紀以降の資料が多い（表2）。

図17-1は須恵系土器の杯である。須恵系土器は10世紀前葉に出現する土器であるが、次第に器高が低くなる傾向がある。この杯は多賀城周辺の資料ではあるが10世紀後半から11世紀前半にかけての資料に類例がある（『多賀城市内の遺跡2—平成31年度ほか発掘調査報告書—』「XII 市川橋遺跡第98次調査」多賀城市教育委員会 令和2年3月）。

3は口縁部から体部にかけて円筒形を呈し、口縁部の下には低い粗雑な隆帯があることから鏝が退化した羽釜と考えられる。2は土師器高台付杯である。高台内の中央には糸切痕が残り、その周囲に爪状圧痕と呼ばれる細長い点列が一周している。対象地区西側の1・2トレンチでは盛土から比較的多くの土器が出土しているが、遺跡外から搬入された可能性も考慮する必要がある。



図15 薄衣城試掘調査位置図



写真21 令和元年航空写真

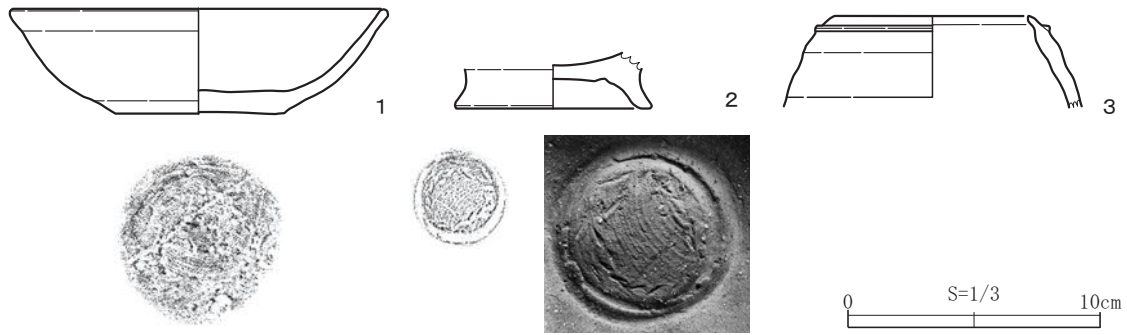
(11) 取り扱い 遺構・遺物の発見により、その取扱いについて協議を行う必要がある旨12月23日付教文第09014号文書で通知した。



図16 薄衣城トレンチ配置図

種別	器種	調整	T 1				T 2				T 3			T 4	不明	合計	
			黒褐色土	暗褐色土	旧表土	盛土	SI 1	SI 2	SX 1	SX 2	盛土	III層	不明	埋土			
土師器	杯	非ロクロ															
		ロクロ	1	1					1	2	3	2				10	
		不明								1	2	1				4	
	高台杯	ロクロ	1				1									2	
	甕	非ロクロ				1											1
		ロクロ		2	1	1				1							5
不明		5	1	1	4				1	5						17	
羽釜	ロクロ									1						1	
須恵器	杯		1													1	
	甕				1		2								1	4	
須恵系土器	杯													1		1	
	皿									1						1	
不明	杯	ロクロ										1				1	
合計																48	

表2 薄衣城出土遺物集計表



番号	種類	出土地区 層位	特徴		口径 残存率	底径 残存率	器高
			外面	内面			
1	須恵系土器・杯	T4 (北側)	【口縁～体部】ロクロナデ 【底部】回転糸切り	ロクロナデ	15 6/24	6.7 24/24	4.2
2	土師器・高台付杯	T2 (北側) 竪穴状遺構	【底部】糸切→高台添付→ロ クロナデ→爪状圧痕	ヘラミガキ→黒色処理		7.8 24/24	
3	土師器・羽釜	T2 盛土	【口縁・体部】ロクロナデ→ 鋳添付→ヨコナデ	ロクロナデ	(7.6) 2/24		

図17 薄衣城出土遺物



写真22 トレンチ内遺物出土状況



写真23 須恵系土器出土状況



写真24 トレンチ掘削状況



写真25 調査区遠景

## 8 板倉遺跡

- (1) 所在地 一関市大東町猿沢字板倉 53-13
- (2) 調査期日 令和2年12月14日
- (3) 担当者 光井文行
- (4) 遺跡の種類 散布地（縄文、平安）
- (5) 遺跡の現状 原野
- (6) 工事主体者 楽天モバイル株式会社
- (7) 工事の目的 携帯電話無線基地局建設工事
- (8) 調査方法 対象地は板倉遺跡の北側中央部に位置する。事業予定地に幅1.2m、長さ1.4mのトレンチを設定して、地山面で遺構検出作業を実施した。
- (9) 調査面積 1.68㎡（対象面積2.25㎡）
- (10) 調査結果 地表下75cmまでは盛土や表土となっており、遺構・遺物は発見できなかった。
- (11) 取り扱い 遺構・遺物は発見できず、工事予定地は地山まで掘削が終了しているため、12月24日付教文第09015号文書により慎重工事の実施を指示した。

I a	I a層 10YR4/2 灰黄褐色。砂質シルト。ややしまりあり。粘性なし。表土。層厚 10 cm。
I b	I b層 10YR7/4 にぶい黄橙色。砂質。しまりなし。粘性なし。盛土。層厚 25 cm。
II	II層 10YR3/1 黒褐色。粘土質シルト。ややしまりあり。やや粘性あり。旧表土。層厚 20 cm。
III	III層 10YR4/4 褐色シルトと 10YR5/6 黄褐色シルトの混合土。ややしまりあり。やや粘性あり。10YR3/2 黒褐色粘土質シルトの小ブロックを多く含む。層厚 20 cm。
IV	IV層 10YR5/6 黄褐色。粘土質。しまりあり。強い粘性あり。地山。

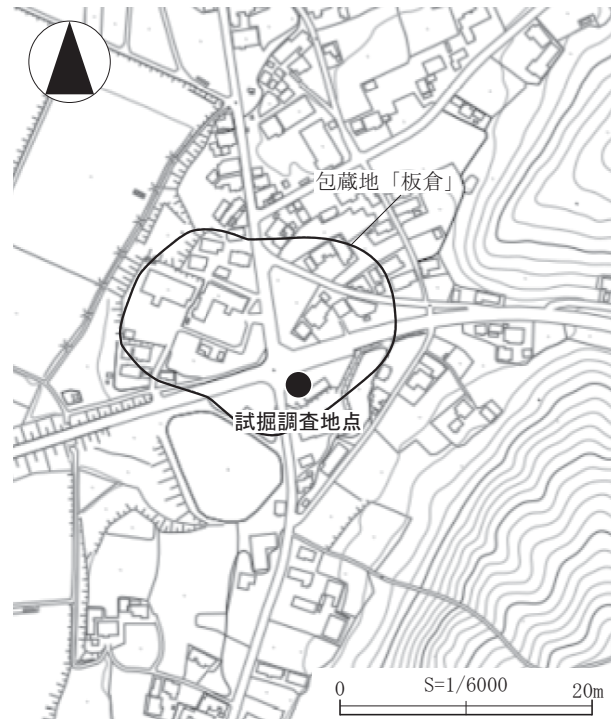


図18 板倉試掘調査位置図



写真26 令和元年航空写真

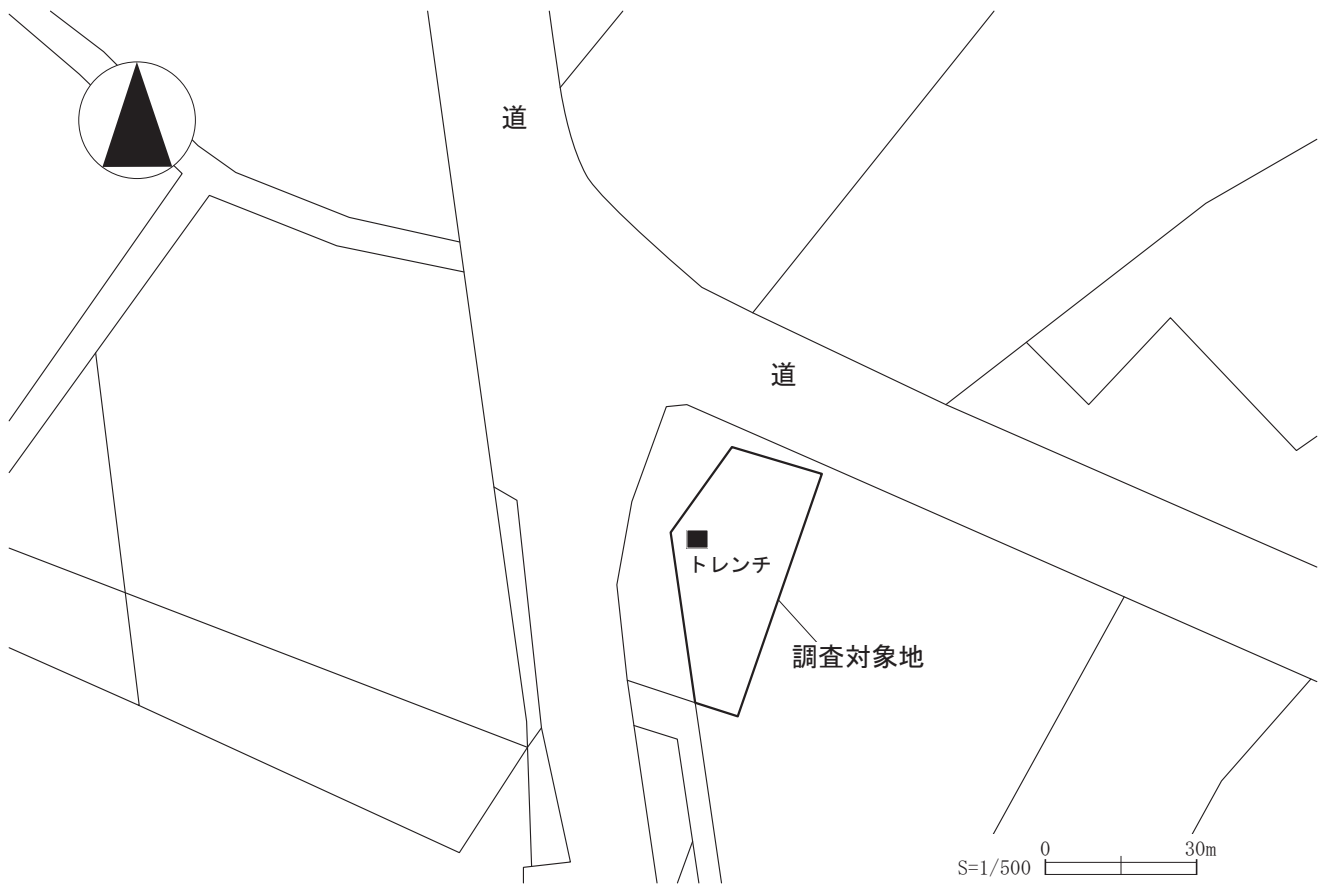


図19 板倉トレンチ配置図



写真27 トレンチ掘削状況

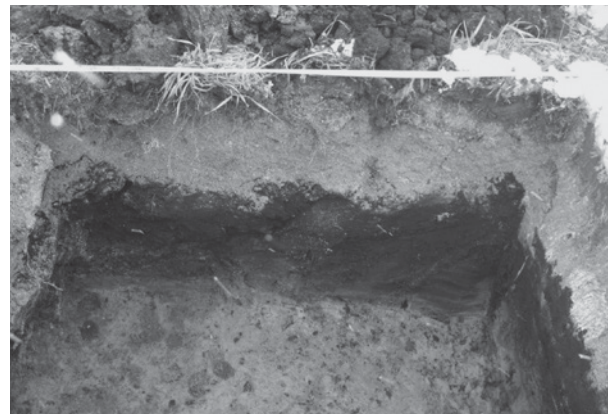


写真28 土層堆積状況

## 9 源八遺跡

- (1) 所在地 一関市大東町摺沢字百目木194-1
- (2) 調査期日 令和3年3月16日
- (3) 担当者 光井文行、阿部充
- (4) 遺跡の種類 散布地（縄文）
- (5) 遺跡の現状 原野（牧草地）
- (6) 工事主体者 株式会社ハウスプロデュース
- (7) 工事の目的 太陽光パネル設置工事
- (8) 調査方法 対象地は源八遺跡のほぼ中央部に位置する。幅1.2m、長さ6.0mのトレンチを4か所設定して、地山面で遺構検出作業を実施した。
- (9) 調査面積 288.8㎡（対象面積3,283㎡）
- (10) 調査結果 表土下20cmが地山となっており、遺構・遺物は発見できなかった。
- (11) 取り扱い 遺構・遺物は発見できなかったため、3月29日付埋蔵文化財発掘の届出を受理し、令和3年3月31日付教文第12031号文書により慎重工事の実施を指示した。

T2

I
II

### トレンチ2

- I層 10YR5/4 にぶい黄褐色粘土質シルト。しまりなし。やや粘性あり。表土。層厚 20 cm。
- II層 10YR6/6 明黄褐色粘土質シルト。しまりあり。やや粘性あり。パミスを少量含む。

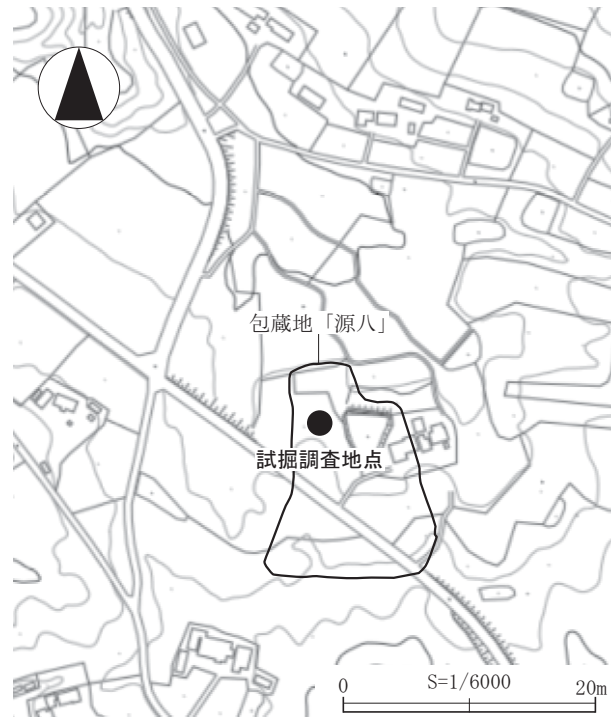


図20 源八試掘調査位置図



写真29 令和元年航空写真

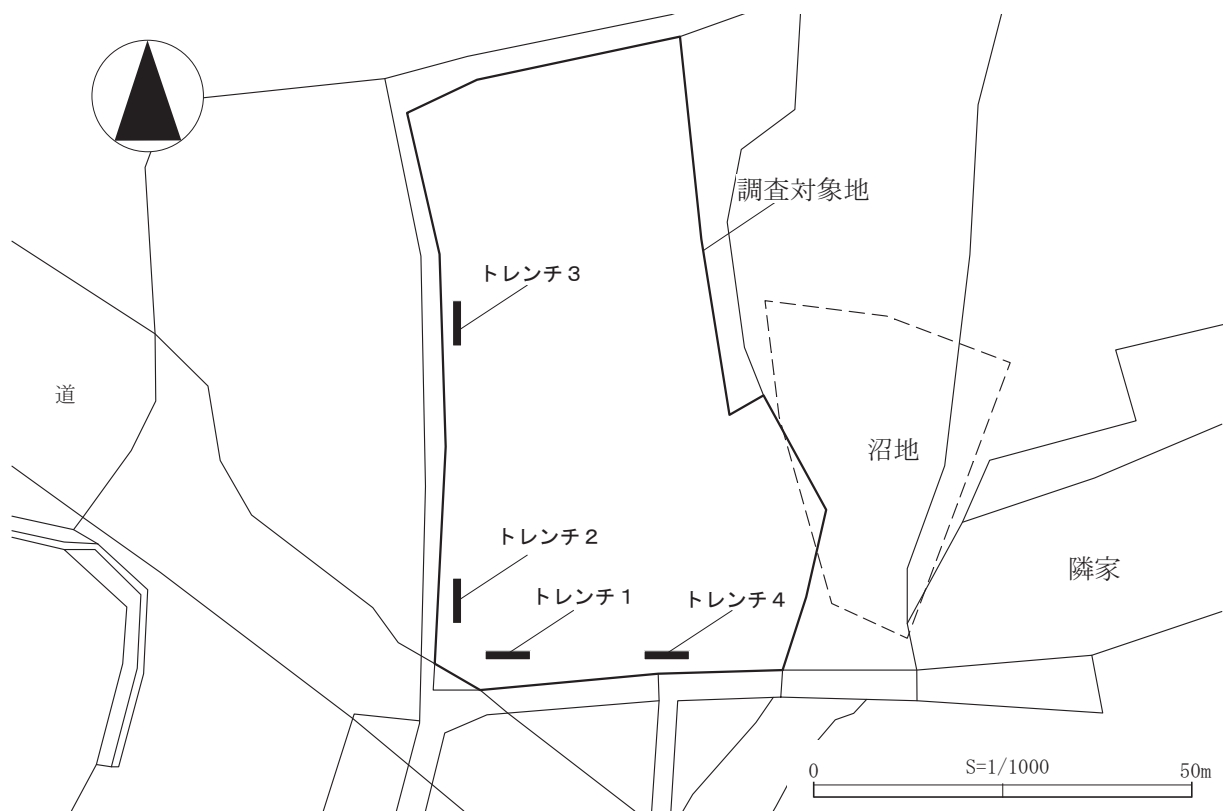


図21 源八トレンチ配置図



写真30 調査区遠景



写真31 調査区遠景



写真32 調査前の状況



写真33 トレンチ掘削状況

## 10 物見石Ⅱ遺跡

- (1) 所在地 一関市千厩町奥玉字物見石22-7
- (2) 調査期日 令和3年3月9日
- (3) 担当者 光井文行、阿部充
- (4) 遺跡の種類 散布地（縄文）
- (5) 遺跡の現状 畑地
- (6) 工事主体者 株式会社旭テクノロジー
- (7) 工事の目的 太陽光パネル設置工事
- (8) 調査方法 対象地は物見石Ⅱ遺跡の南側に位置する。事業予定地に幅1.2m、長さ6～8mのトレンチを6か所設定して、遺構検出作業を実施した。
- (9) 調査面積 48.0㎡（対象面積320㎡）
- (10) 調査結果 地表下75cmの地山面で遺構検出作業を実施したが、遺構・遺物は発見できなかった。
- (11) 取り扱い 遺構・遺物は発見できなかったため、3月22日付埋蔵文化財発掘の届出を受理し、令和3年3月25日付教文第12020号文書により慎重工事の実施を指示した。

### トレンチ6

I層 10YR3/1 黒褐色シルト。しまりなし。粘性なし。表土。層厚 20 cm。

II層 10YR2/1 黒色シルト。ややしまりあり。やや粘性あり。明黄褐色シルトの小ブロックを含む。層厚 20 cm。

III層 10YR2/1 黒色粘土質シルト。しまりあり。粘性あり。直径約 5 cmの亜角礫を少量含む。層厚 15 cm。

IV層 10YR2/3 黒褐色砂質シルト。ややしまりあり。やや粘性あり。明黄褐色砂質シルトの小ブロックを少量含む。層厚 20 cm。

V層 10YR6/1 明黄褐色砂質シルト。ややしまりあり。やや粘性あり。

T6

I
II
III
IV
V

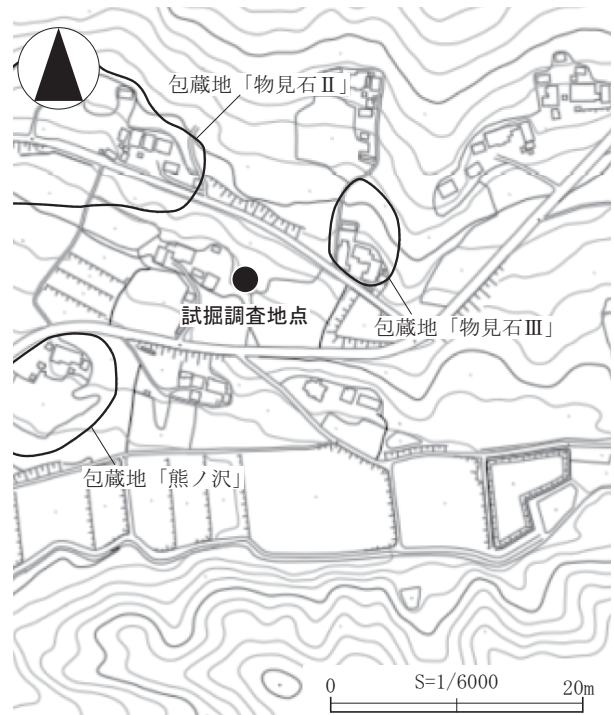


図22 物見石Ⅱ試掘調査位置図



写真34 令和元年航空写真

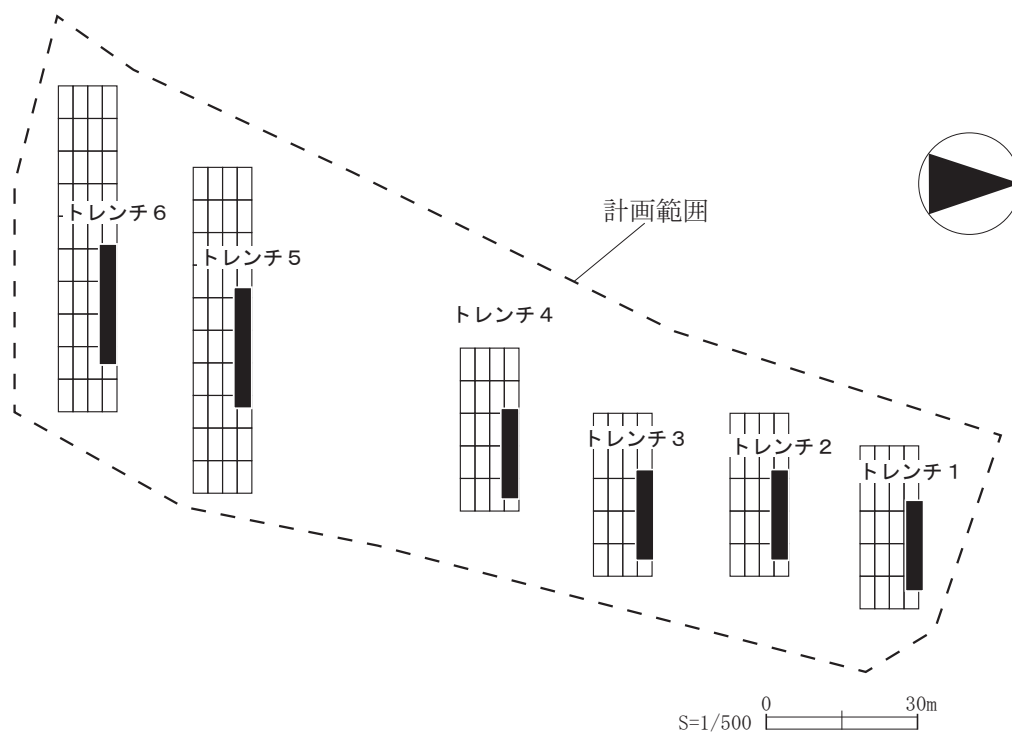


図23 物見石Ⅱ トレンチ配置図



写真35 調査区遠景



写真36 調査開始前の状況



写真37 調査区全景



写真38 トレンチ掘削状況

## II 工事立会

### 1 臥牛館遺跡（伏牛館遺跡）

- (1) 所在地 一関市山目字館46-1
- (2) 立会期日 令和2年5月16日
- (3) 担当者 光井文行
- (4) 遺跡の種類 城館跡（中世末）
- (5) 遺跡の現状 磐井中学校グラウンド
- (6) 工事主体者 一関市長（教育総務課）
- (7) 工事の目的 磐井中学校グラウンド埋設基礎撤去工事
- (8) 立会方法 対象地は臥牛館遺跡の北部に位置する。市立磐井中学校のグラウンド内に残る旧山目中学校校舎の建物基礎を撤去するもので、露出する3か所の基礎の撤去作業に立ち会った。
- (9) 立会面積 不明（対象面積6㎡）
- (10) 立会結果 表土は除染のため除去されて10cm未満であり、遺構・遺物は発見できなかった。

#### 地点3

I層 10YR4/3にぶい黄褐色砂質。しまりなし。粘性なし。直径1cmの小石を少量含む。表土。層厚6cm。  
II層 10YR7/4にぶい黄褐色粘土質シルト。しまりあり。やや粘性あり。下層に明褐色（7.5YR5/8）砂質を含む。地山（40cm掘り下げ）。

I
II

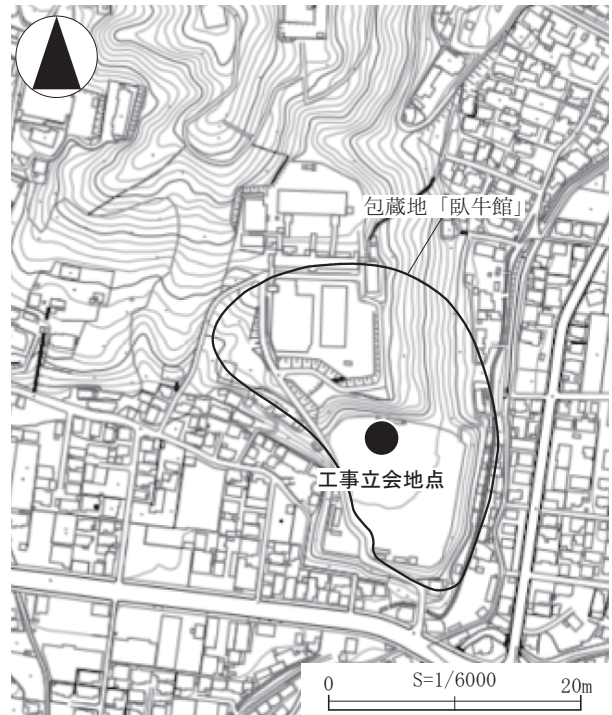


図24 臥牛館立会位置図



写真39 令和元年航空写真

## 2 小石名沢古館遺跡

- (1) 所在地 一関市山目字三反田212-2、212-4
- (2) 立会期日 令和2年6月9日
- (3) 担当者 光井文行、小澤絵美
- (4) 遺跡の種類 城館跡擬定地（中世末）
- (5) 遺跡の現状 宅地（埋蔵文化財包蔵地の南東部に隣接）
- (6) 工事主体者 個人
- (7) 工事の目的 既存住宅解体工事及び個人住宅新築建設
- (8) 立会方法 対象地は小石名沢古館遺跡の南西部隣接地である。既存住宅の基礎撤去の際に立ち会った。幅1.2m×長さ1.6～1.8mのトレンチを3条設定し、地山面で遺構確認を実施した。
- (9) 立会面積 6.0㎡（対象面積147㎡）
- (10) 立会結果 表土下0.7～1.0mで地山の黄褐色砂礫層が現れたが、遺構・遺物は発見できなかった。

T1

I
II
III

### トレンチ1

I層 10YR3/2 黒褐色粘土質。粘性あり。しまりなし。砂や酸化鉄をやや多く含む。層厚20cm。

II層 10YR2/1 黒色砂質シルト。ややしまりあり。やや粘性あり。直径0.5cmの小礫を多く含む。層厚10cm（トレンチ3では層厚30cm）。

III層 10YR5/8 黄褐色砂礫。直径5～20cmの小円礫を多く含む。地山（20cm掘り下げ）。



図25 小石名沢古館立会位置図



写真40 令和元年航空写真

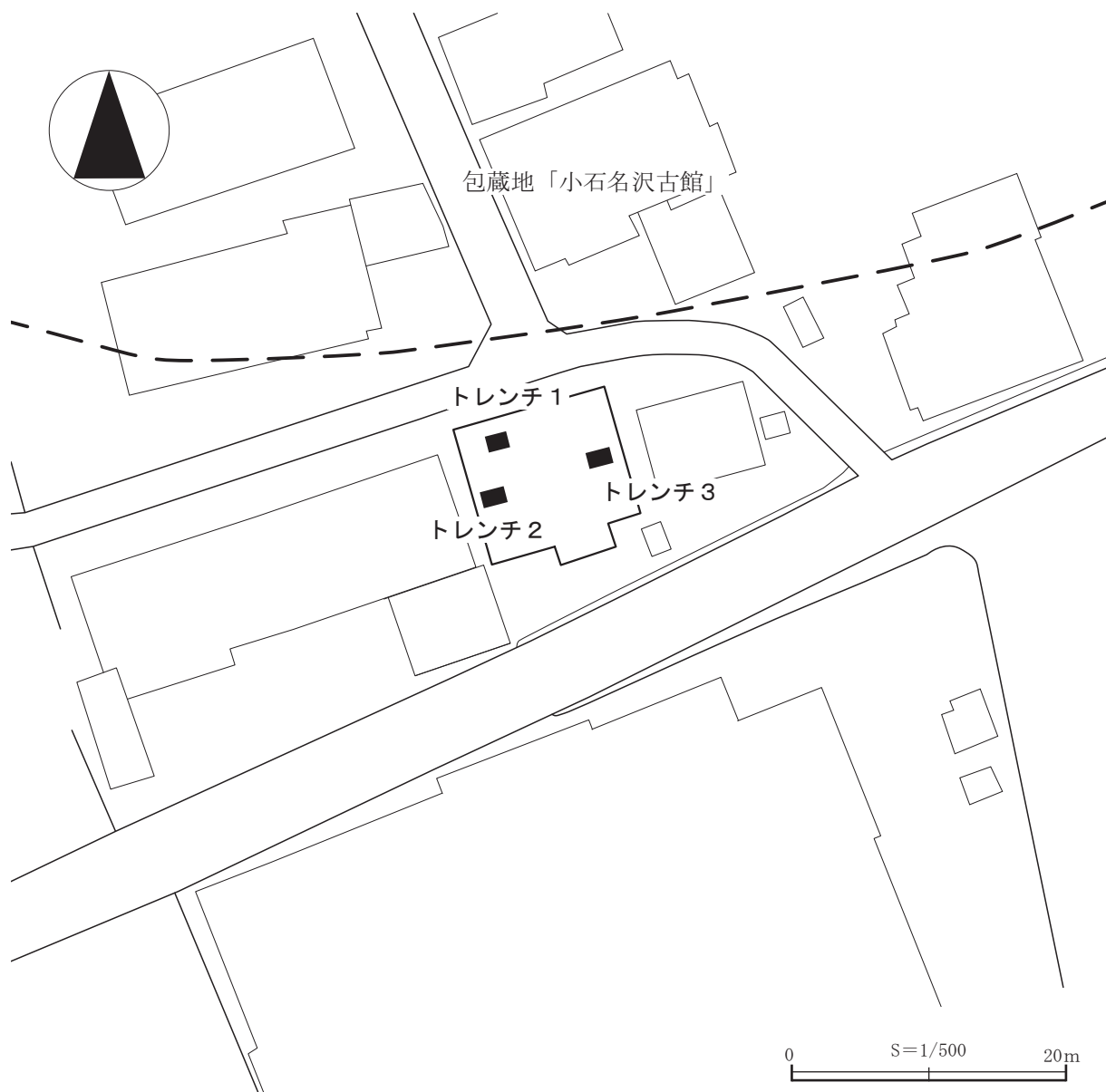


図26 小石名沢古館トレンチ配置図

### 3 小石名沢古館遺跡

- (1) 所在地 一関市山目字三反田73-3
- (2) 立会期日 令和2年9月7日
- (3) 担当者 光井文行、阿部充
- (4) 遺跡の種類 城館跡擬定地（中世末）
- (5) 遺跡の現状 宅地（埋蔵文化財包蔵地の南東部に隣接）
- (6) 工事主体者 個人
- (7) 工事の目的 既存住宅解体工事及び個人住宅新築建設
- (8) 立会方法 対象地は小石名沢古館遺跡の南東部にあたる。建物建設予定地内に東西方向のトレンチを設定して遺構検出作業を実施した。
- (9) 立会面積 8.5㎡（対象面積349.57㎡）
- (10) 立会結果 表土下0.5～0.7mで暗褐色土や砂礫層からなる地山が現れ、砂礫層は直径約20cmの円礫を含んでいた。遺構・遺物は発見できなかった。

I	I層 10YR4/3 にぶい黄褐色シルト。ややしまりあり。粘性なし。表土。層厚 30 cm。
II	II層 10YR2/2 黒褐色シルト。ややしまりあり。粘性なし。炭化物粒を少量含む。層厚 20 cm。
IIIa	III a層 10YR3/4 暗褐色シルト。ややしまりあり。やや粘性あり。黄褐色（10YR6/6）の小粒を少量含む。地山。層厚 20 cm。
IIIb	III b層 10YR3/4 暗褐色砂礫。ややしまりあり。粘性なし。直径約 20 cmの川原石などをやや多く含む。地山。

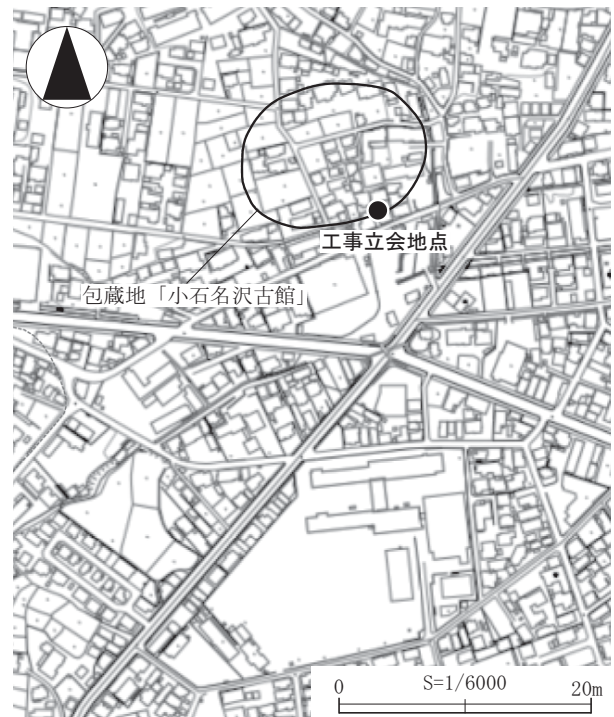


図27 小石名沢古館立会位置図



写真41 令和元年航空写真

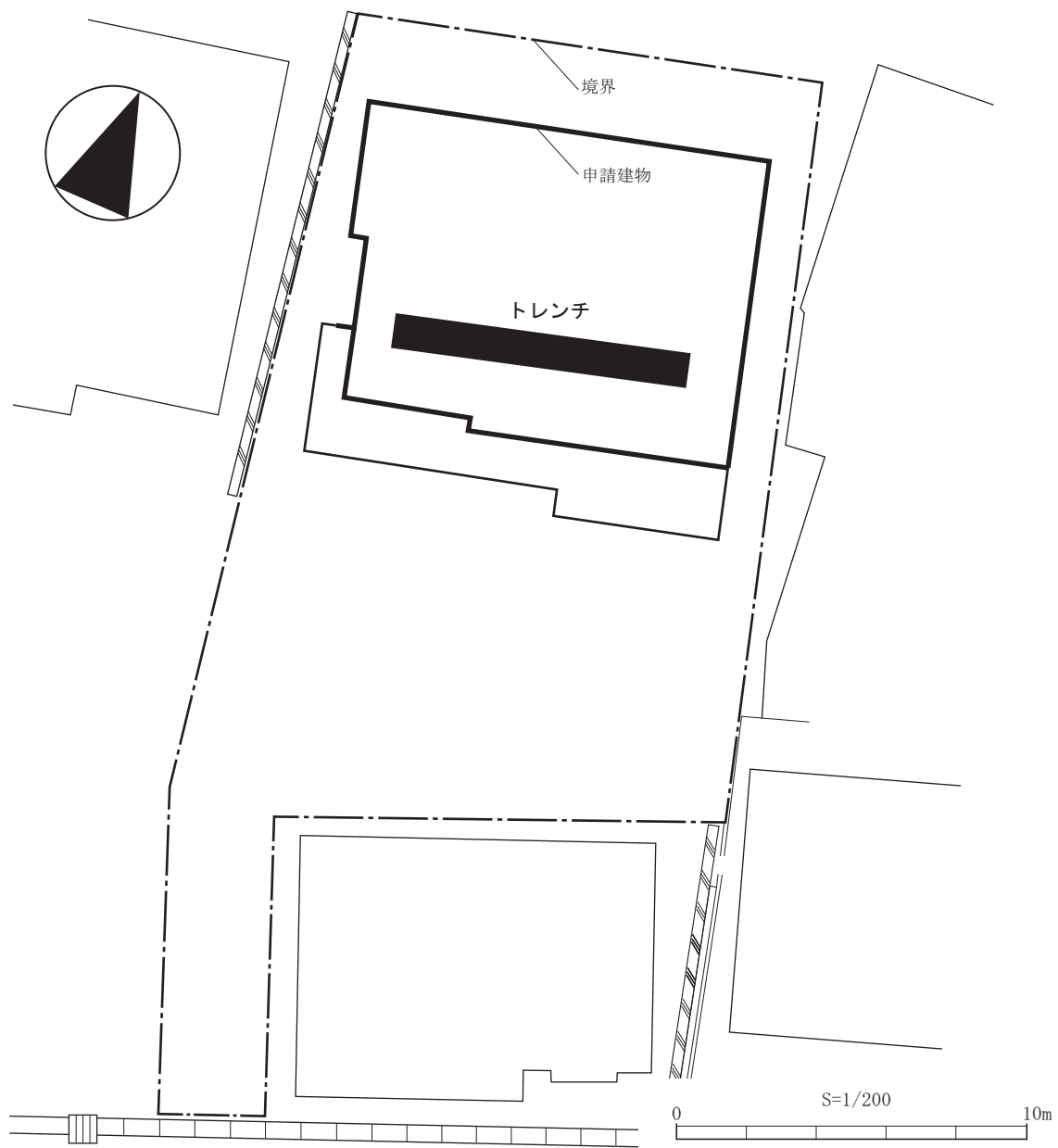


図28 小石名沢古館トレンチ配置図

#### 4 千厩城遺跡（茶臼館遺跡）

- (1) 所在地 一関市千厩町千厩字館山50
- (2) 立会期日 令和2年6月23日、7月3日、  
8月3日、8月31日
- (3) 担当者 光井文行、小澤絵美
- (4) 遺跡の種類 城館跡（中世）
- (5) 遺跡の現状 公共施設
- (6) 工事主体者 一関市長（千厩支所地域振興課）
- (7) 工事の目的 千厩市民センター及び千厩体育館  
への公共下水道接続工事及び既存浄  
化槽撤去工事

- (8) 立会方法 対象地は千厩城遺跡の北東部に位  
置しており、下水道接続工事で3回、  
浄化槽撤去工事で1回の掘削に立ち  
会った。浄化槽撤去工事では幅2.4  
m、長さ12.0mのトレンチを1か所  
設定して、地山面で遺構検出作業を実施した。

- (9) 立会面積 40.1㎡（対象面積241.8㎡）

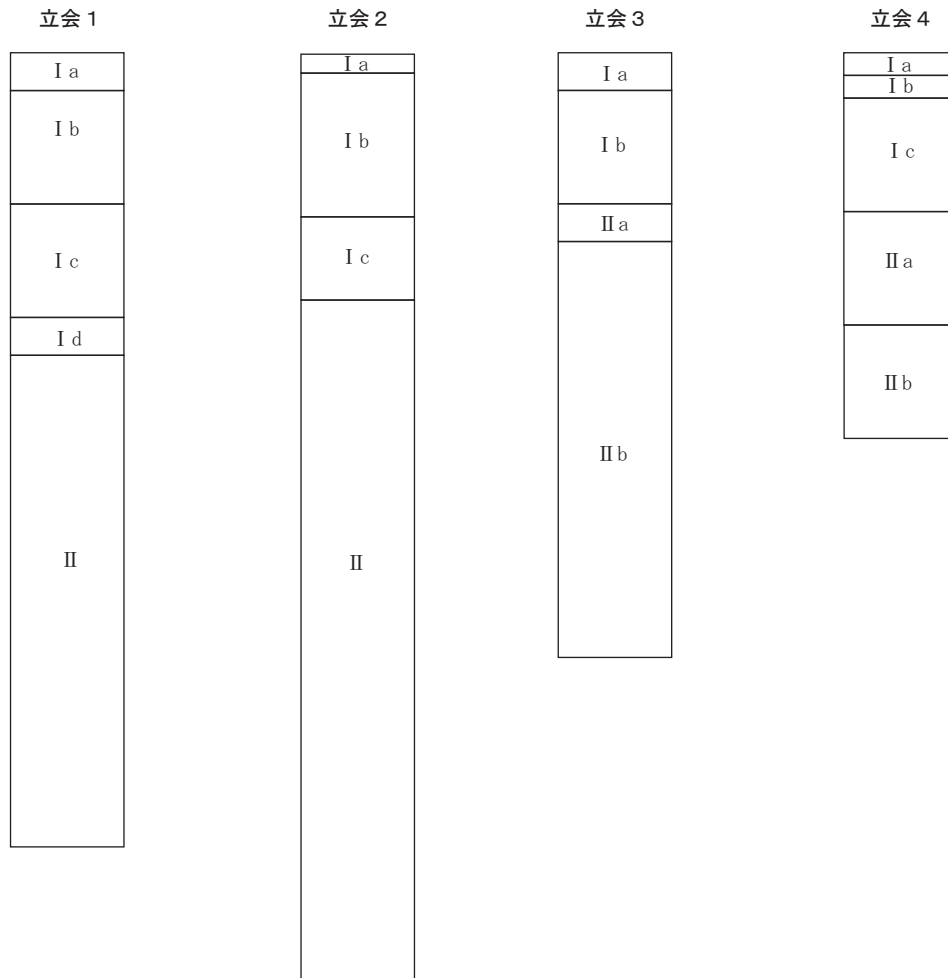
- (10) 立会結果 いずれの掘削部でも地表面（アスファルト）下は碎石層や砂層であり、No.2区では地山面に重機の掘削痕が残っていた。周辺施設建設時の造成が地山まで及んでいたと見られる。遺構・遺物は発見できなかった。



図29 千厩城立会位置図



写真42 令和元年航空写真



#### 立会 1

- I a 層 アスファルト。層厚 10 cm。
- I b 層 碎石層。層厚 30 cm。
- I c 層 砂利層。直径 3～5 cm の亜円礫を多く含む。層厚 30 cm。
- I d 層 10YR4/3 にぶい黄褐色。砂質層。ややしまりあり。粘性なし。直径 3 cm の亜円礫を少量含む。層厚 10 cm。
- II 層 10YR7/2 にぶい黄橙色。砂質層（風化した花崗岩層）。しまりあり。粘性なし。1.3 m 掘り下げ。

#### 立会 2

- I a 層 アスファルト。層厚 5 cm。
- I b 層 10YR4/3 にぶい黄褐色。砂利層。ややしまりあり。粘性なし。層厚 38 cm。
- I c 層 10YR4/4 褐色砂利層。しまりあり。粘性なし。層厚 22 cm。
- II 層 10YR7/2 にぶい黄橙色。砂質層（風化した花崗岩層）。しまりあり。粘性なし。1.8 m 掘り下げ。

#### 立会 3

- I a 層 アスファルト。層厚 10 cm。
- I b 層 碎石層。層厚 30 cm。
- II a 層 10YR5/4 にぶい黄褐色。砂質。しまりあり。粘性なし。地山（風化した花崗岩層）。層厚 10 cm。
- II b 層 10YR6/4 にぶい黄橙色。砂質。固くしまる。粘性なし。灰白色（10YR8/1）のパミス（浮石）を多く含み、直径約 1 cm の褐色（10YR4/4）の小亜角礫や、金雲母も含む。地山。1.1 m 掘り下げ。

#### 立会 4

- I a 層 碎石層。層厚 6 cm。
- I b 層 アスファルト。層厚 6 cm。
- I c 層 10YR4/3 にぶい黄褐色。碎石層。しまりなし。粘性なし。層厚 30 cm。
- II a 層 10YR7/4 にぶい黄橙色。砂質。しまりあり。粘性なし。黄褐色（10YR5/6）砂質を帯状に含む。地山（風化した花崗岩層）。層厚 30 cm。
- II b 層 10YR4/2 灰黄褐色。砂質シルト。しまりあり。粘性なし。灰白色（10YR8/1）の浮石を少量含む。地山。



写真43 立会3地点遠景



写真44 立会1地点作業風景



写真45 立会2地点作業風景



写真46 立会3地点地山面検出状況

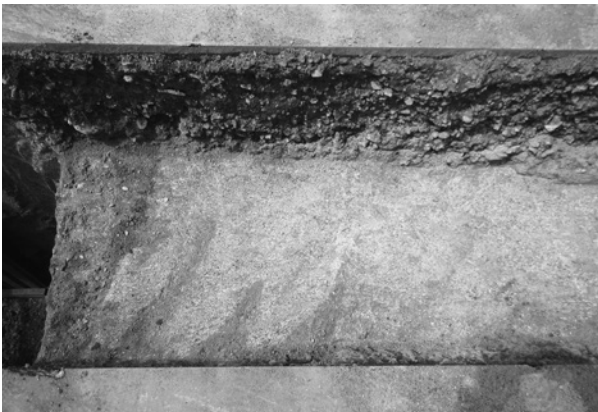


写真47 立会2地点地山面の削平状況



写真48 立会1地点土層堆積状況

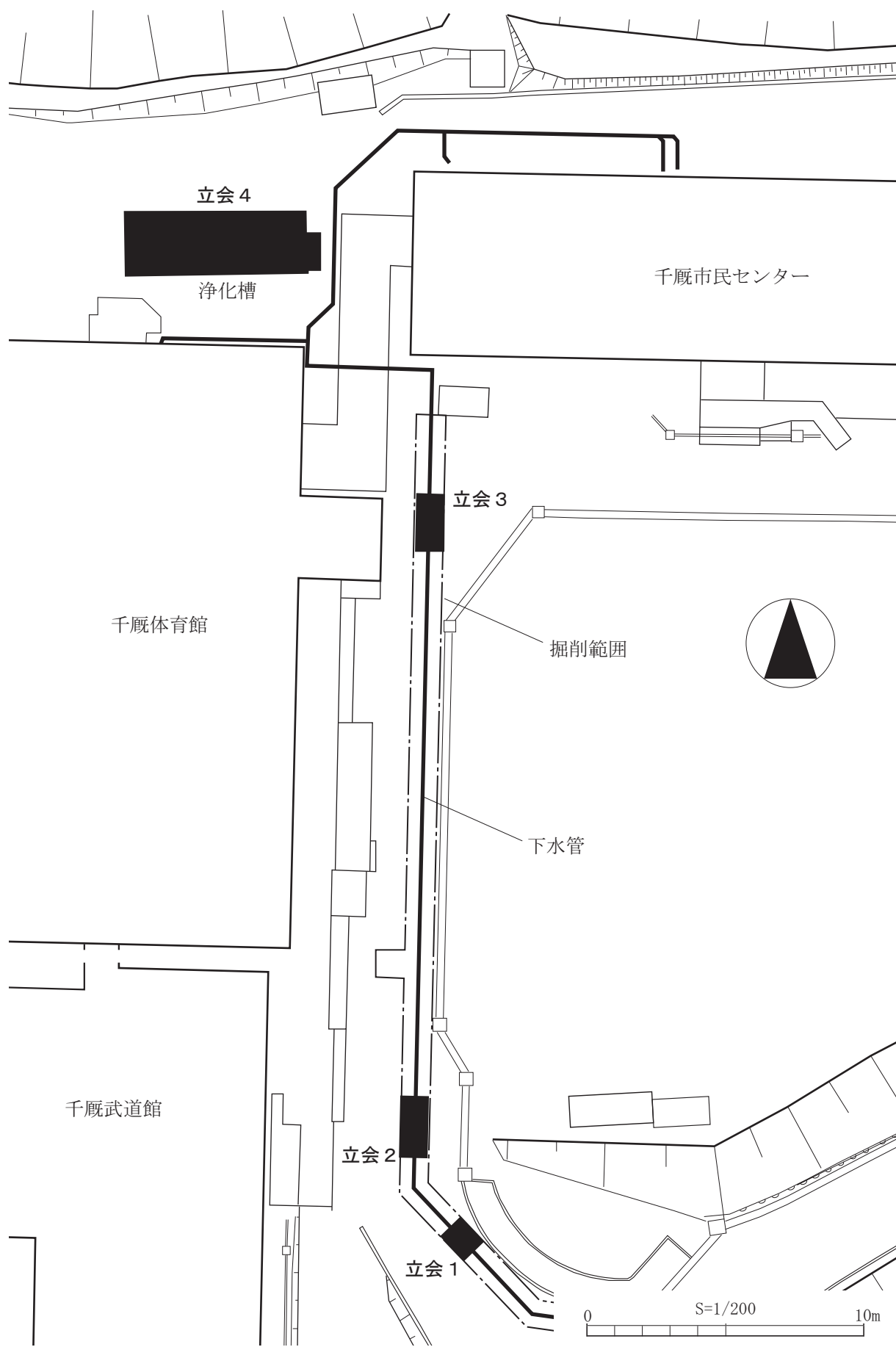


図30 千厩城トレンチ配置図

## 5 月町遺跡

- (1) 所在地 一関市赤荻字月町63-3地先
- (2) 立会期日 令和2年7月13日、15日、16日
- (3) 担当者 光井文行
- (4) 遺跡の種類 散布地（平安）
- (5) 遺跡の現状 道路
- (6) 工事主体者 一関市長（下水道課）
- (7) 工事の目的 下水道管埋設工事
- (8) 立会方法 市道を開削するにあたり、トレンチ1・3～6は幅約0.7m、長さ約2m、トレンチ2は幅約0.7m、長さ約0.7mを重機で掘削し、地山上面で遺構検出作業を行った。
- (9) 立会面積 9.8㎡（対象面積223㎡）
- (10) 立会結果 トレンチ2で東西方向に伸びる溝跡を検出し、埋土から陶磁器4点が出土した。
- (11) 取り扱い 遺構・遺物の発見によりその扱いについて下水道課と協議を行ったが、工事内容が変更できないことから、7月30日付教文第04016号文書により工事着手前の発掘調査を勧告した。7月27日付埋蔵文化財発掘の通知が提出され、7月28日付教文第04016号文書により改めて工事に際して事前の発掘調査を勧告し、9月から発掘調査を実施した（一関市教育委員会2021『岩手県一関市埋蔵文化財発掘調査報告書第31集 月町遺跡発掘調査報告書 磐井川流域関連一関公共下水道月町地区枝線工事に伴う発掘調査』）。

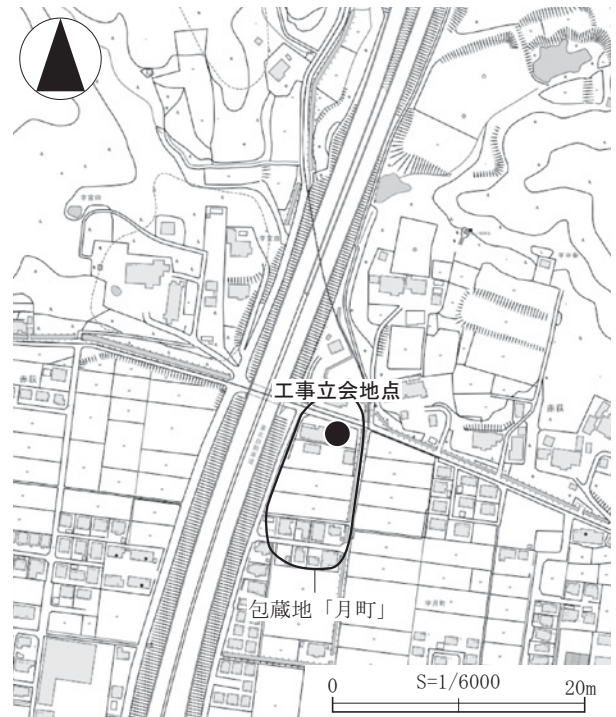


図31 月町立会位置図



写真49 令和元年航空写真

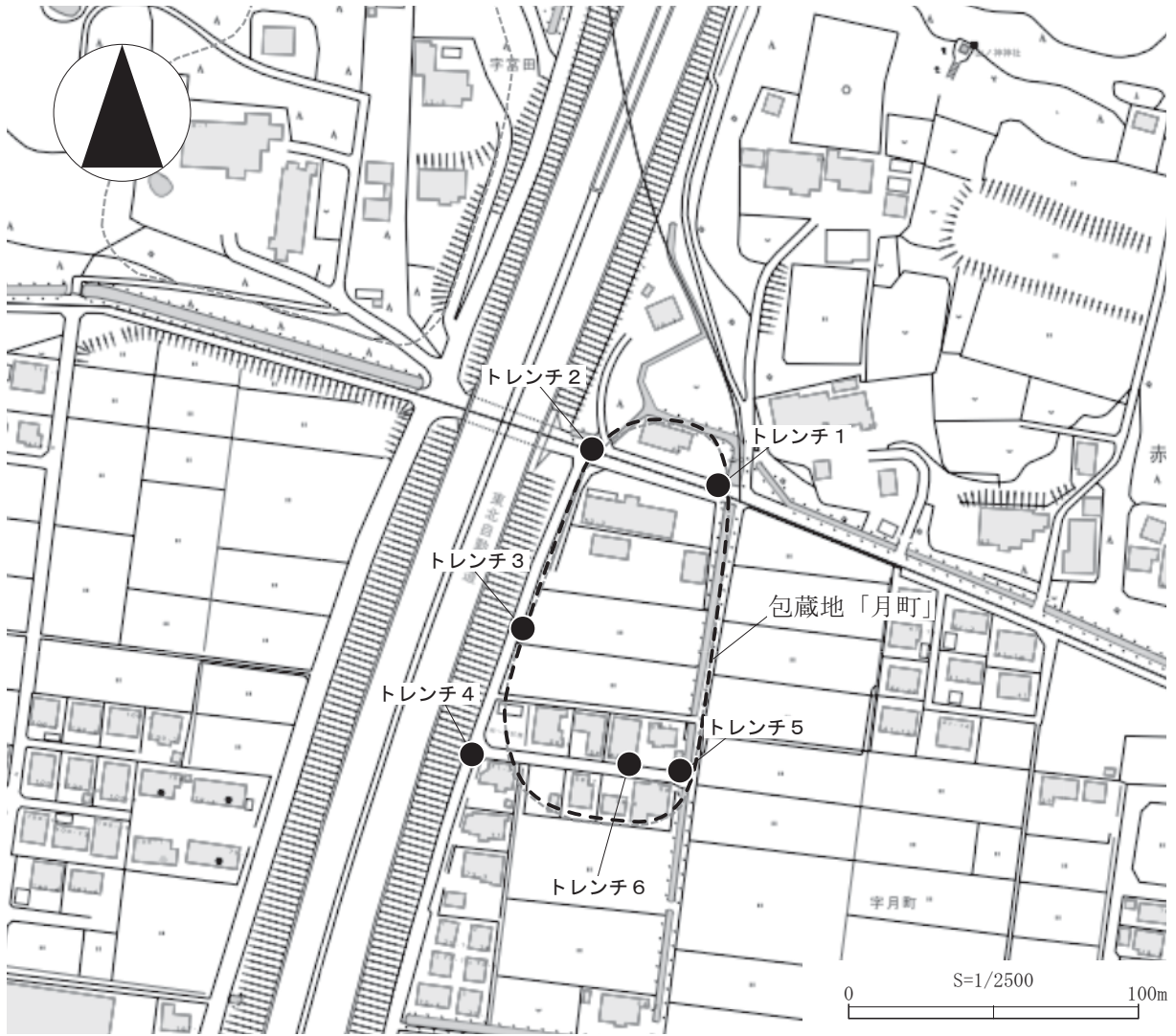


図32 月町トレンチ配置図



写真50 トレンチ2溝跡検出状況



写真51 トレンチ2土層堆積状況

## 6 七郎五郎遺跡

- (1) 所在地 一関市藤沢町黄海字天堤249-3
- (2) 立会期日 令和2年7月14日
- (3) 担当者 菅原孝明
- (4) 遺跡の種類 散布地（縄文）
- (5) 遺跡の現状 宅地（埋蔵文化財包蔵地の南西部に隣接）
- (6) 工事主体者 個人
- (7) 工事の目的 既存住宅解体工事及び個人住宅新築工事
- (8) 立会方法 対象地は七郎五郎遺跡が存在する丘陵部の南西部に隣接する低地であり、既存住宅の基礎撤去工事に立ち会い、幅約2m、長さ約8mの範囲で土層断面の観察を行った。
- (9) 立会面積 17.6㎡（対象面積118.95㎡）
- (10) 立会結果 遺構・遺物は発見できなかった。

I	
II	
III	<p>I層 10YR7/4 にぶい黄橙色砂質。しまりなし。粘性なし。盛土。層厚 10 cm。</p> <p>II層 10YR2/2・10YR2/3 黒褐色粘土質シルト。ややしまりあり。粘性あり。層厚 20 cm。</p> <p>III層 10YR5/6 黄褐色砂利層。しまりなし。粘性なし。直径20～40 cmの川原石を多く含む。地山(60 cm掘削)。</p>

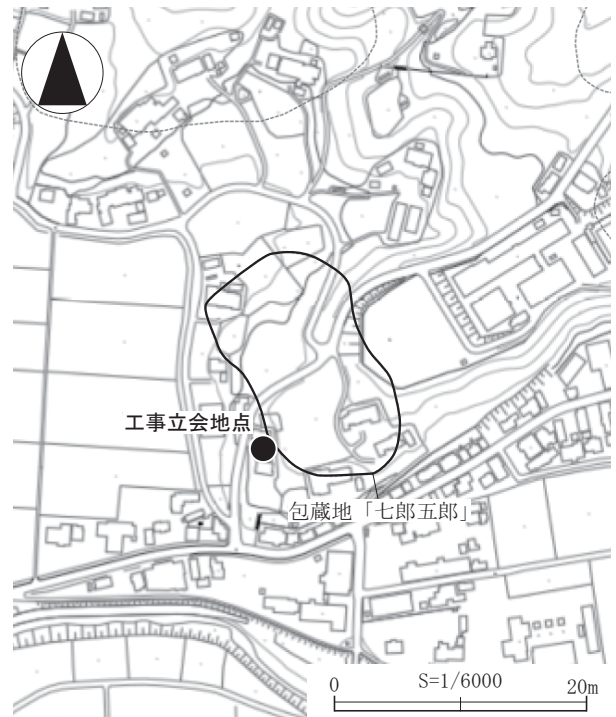


図33 七郎五郎立会位置図



写真52 平成28年航空写真

## 7 骨寺村荘園遺跡

- (1)所在地 一関市巖美町字駒形145
- (2)立会期日 令和2年7月16日
- (3)担当者 光井文行
- (4)遺跡の種類 その他の遺跡（荘園）（縄文、平安、中世、近世、近代）
- (5)遺跡の現状 宅地
- (6)工事主体者 個人
- (7)工事の目的 浄化槽設置工事
- (8)立会方法 対象地は骨寺村荘園遺跡のおおよそ中央部に位置しており、対象地の1.5m×2.0mの範囲で遺構検出作業を実施した。
- (9)立会面積 3㎡（対象面積28.6㎡）
- (10)立会結果 表土下約30cmで地山は大型の円礫を含む砂利層となっており、遺構・遺物は発見できなかった。



図34 骨寺村荘園立会位置図



写真53 工事対象地掘削状況



写真54 砂利層検出状況

## 8 野中遺跡

- (1) 所在地 一関市赤荻字松木231-2
- (2) 立会期日 令和2年8月28日
- (3) 担当者 光井文行
- (4) 遺跡の種類 散布地（弥生）
- (5) 遺跡の現状 宅地（埋蔵文化財包蔵地の西側に隣接）
- (6) 工事主体者 個人
- (7) 工事の目的 既存住宅解体工事及び個人住宅新築工事
- (8) 立会方法 対象地は野中遺跡の西側約35mの隣接地である。住宅の基礎コンクリート除去後、1.0m×4.0m範囲で遺構検出作業を行った。
- (9) 立会面積 4.0㎡（対象面積4.0㎡）
- (10) 立会結果 地表下1.1mの地山まで掘り下げたが、遺構・遺物は発見できなかった。

I	
II	I層 10YR3/4 暗褐色砂質シルト。しまりなし。粘性なし。直径1～2cmの小石を多く含む。盛土。層厚40cm。
III	II層 10YR2/2 黒褐色粘土質シルト。ややしまりあり。やや粘性あり。旧表土。層厚40cm。 III層 10YR3/1 黒褐色粘土質シルト。ややしまりあり。粘性あり。褐色(10YR4/4)シルトの小ブロックを少量含む。層厚30cm。
IV	IV層 10YR4/4 褐色シルト。ややしまりあり。やや粘性あり。地山。



図35 野中立会位置図



写真55 令和元年航空写真

## 9 大洞地遺跡

- (1) 所在地 一関市大東町洪民字大洞地54-2、54-4、54-9、55-1
- (2) 立会期日 令和2年10月26日
- (3) 担当者 光井文行
- (4) 遺跡の種類 散布地（縄文、古代、近世）
- (5) 遺跡の現状 道路
- (6) 工事主体者 一関市長（建設整備課）
- (7) 工事の目的 水路設置工事
- (8) 立会方法 対象地は大洞地遺跡の北西部にあたる隣接地である。幅1m、長さ2.5mの範囲で遺構検出作業を実施した。
- (9) 立会面積 2.5㎡（対象面積48㎡）
- (10) 立会結果 地表下1.3mまで掘り下げたが、遺構・遺物は発見できなかった。

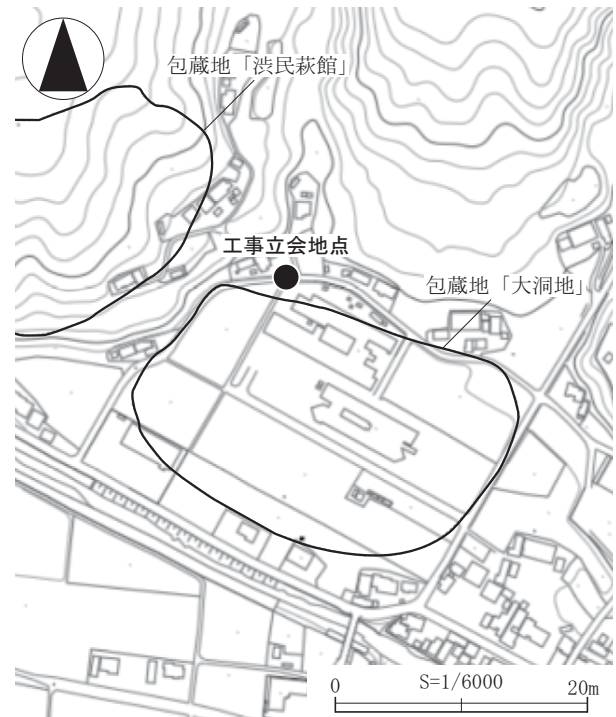


図36 大洞地立会位置図

I a	
I b	
II	<p>I a層 碎石層。層厚 20 cm。</p> <p>I b層 10YR4/8 浅黄橙色。砂質。しまりなし。粘性なし。直径3～5 cmの小石を含み、金雲母を多く含む。層厚 40 cm。</p>
III	<p>II層 10YR4/1 褐灰色。砂質。ややしまりあり。粘性なし。直径約5 cmの小石を少量含み、酸化鉄や金雲母をやや多く含む。層厚 30 cm。</p> <p>III層 10YR4/1 褐灰色。砂質。ややしまりあり。40 cm掘り下げ。</p>



写真56 令和元年航空写真

## 10 畑中IV遺跡

- (1) 所在地 一関市大東町大原字朝米前18、  
字杉本31、字上大原下160、196
- (2) 立会期日 令和2年11月27日
- (3) 担当者 光井文行
- (4) 遺跡の種類 散布地（縄文）
- (5) 遺跡の現状 道路
- (6) 工事主体者 一関市長（建設整備課）
- (7) 工事の目的 歩道設置工事
- (8) 立会方法 対象地は畑中IV遺跡の北西部にあたる隣接地である。幅1.3m、長さ5mのトレンチを設定して遺構検出作業を実施した。
- (9) 立会面積 6.5㎡（対象面積610㎡）
- (10) 立会結果 表土下1.0mまでは道路建設時の盛土、その下層に盛土前の表土等があり、その下層は旧河川堆積物となっていた。遺構・遺物は発見できなかった。

I a	
I b	I a層 10YR4/2 灰黄褐色。砂質。しまりなし。粘性なし。長径30～40cmの川原石を含む。盛土。層厚40cm。 I b層 10YR3/2 黒褐色。砂質。しまりなし。粘性なし。川原石を多く含む。盛土。層厚60cm。
II	II層 10YR2/3 粘土質シルト。ややしまりあり。やや粘性あり。小石を少量含む。旧表土。層厚20cm。
III	III層 10YR6/3 にぶい黄褐色。砂質シルト。しまりなし。粘性なし。直径10cm未満の小石を少量含む。層厚20cm。
IV	IV層 10YR3/2 黒褐色。砂利層。しまりなし。粘性なし。旧河川堆積物。30cm掘り下げ。



図37 畑中IV立会位置図



写真57 令和元年航空写真

## 11 内館遺跡(松川城遺跡・久留美館遺跡)

- (1) 所在地 一関市東山町松川字館68-6
- (2) 立会期日 令和2年11月27日
- (3) 担当者 光井文行
- (4) 遺跡の種類 散布地(縄文、中世)
- (5) 遺跡の現状 公園
- (6) 工事主体者 一関市長(東山支所産業建設課)
- (7) 工事の目的 道路拡幅工事
- (8) 立会方法 対象地は内館遺跡の北東部にあたる。畑に至る幅員1.4mの道路を幅員1.8mに拡幅するため、手作業による掘削工事に立ち会った。
- (9) 立会面積 12.0㎡(対象面積12㎡)
- (10) 立会結果 対象地は現道を造成する際に大幅に削平されており、遺構・遺物は発見できなかった。

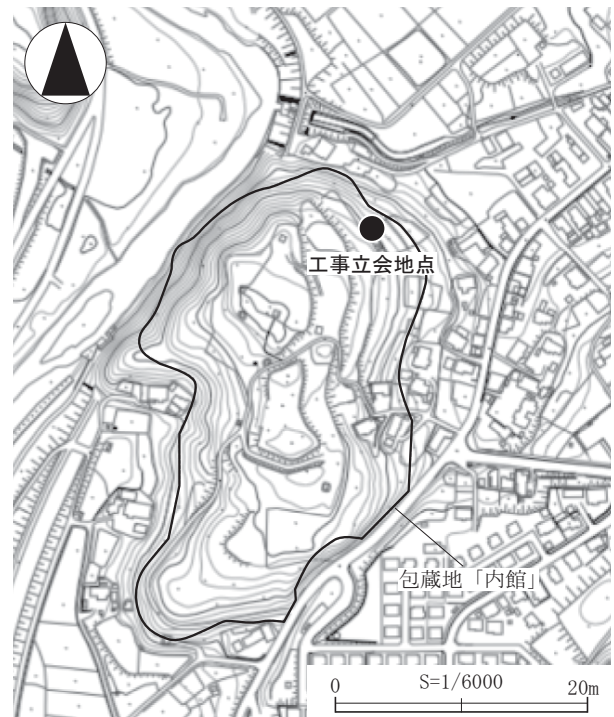


図38 内館立会位置図

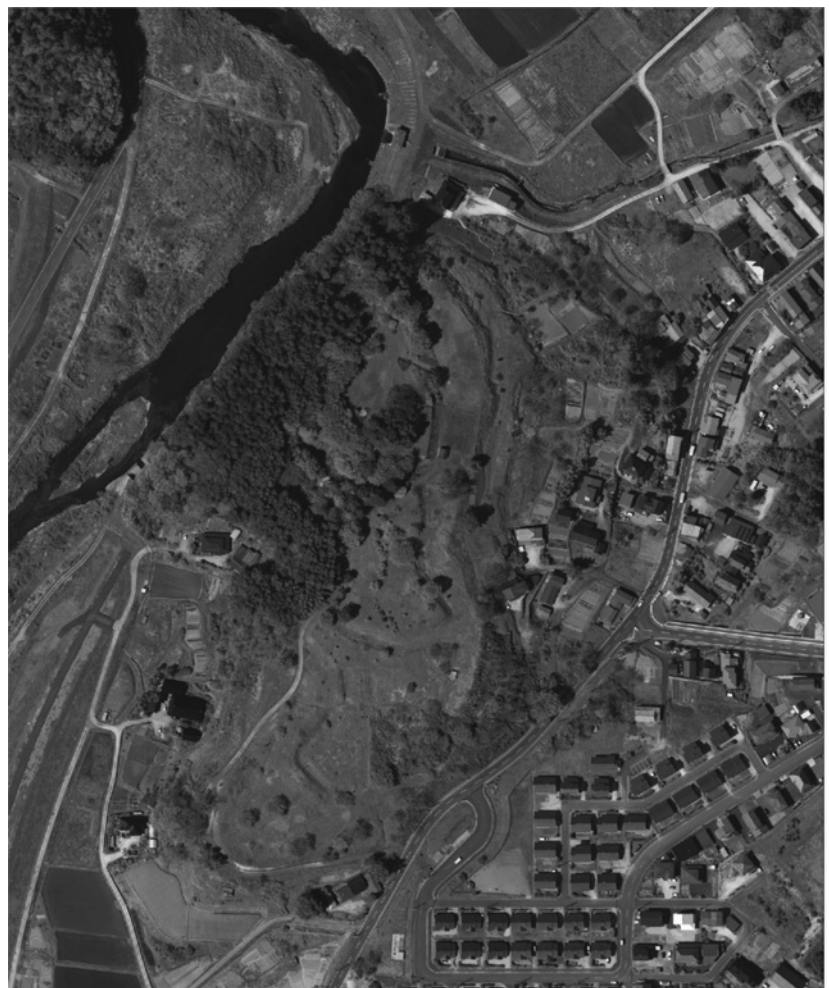


写真58 平成25年航空写真

# 抄 録

ふりがな	しないいせきちようさほうこくしょ							
書名	市内遺跡調査報告書							
副書名	令和2年度試掘調査・工事立会							
巻次								
シリーズ名	岩手県一関市埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第45集							
編著者名	千葉孝弥・菅原わかな							
編集機関	一関市教育委員会							
所在地	〒029-3105 一関市花泉町涌津字一ノ町29 TEL0191-82-2242							
発行年月日	2026年3月23日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
とちくらだて 枳倉館	いちのせきしはぎしやうあざ 一関市萩荘字 はちもり 八森95-1	03209	OE03- 1358	38° 54' 23"	141° 0' 22"	20200430	50.4m <sup>2</sup>	太陽光パ ネル
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
	城館跡	中世末	なし	なし		遺構はGL-100cm以 下にあるため慎重工 事		
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
もときじかみ 本木・地の神II	いちのせきしだいとうちやう 一関市大東町 ざるさわあざもとき 猿沢字本木6-2、 9-6、33、35-1	03209	NF50- 2234 NF50- 2254	39° 2' 11"	141° 19' 5"	20200407 ～ 20200423	約400m <sup>2</sup>	土石採取
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
	散布地	縄文	炭窯、土坑	なし		発掘調査実施		

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しんいちのせきしりつ 新一関市立 むろねしょうがっこう 室根小学校 ようち 用地	いちのせきしむろねちよう 一関市室根町 やこしあざこたんだ 矢越字五反田 41-2	03209		38° 56' 7"	141° 26' 6"	20200427	28㎡	学校建設
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
			なし	なし				
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
さいこうじうら 西光寺裏	いちのせきしほぎしょうあざなか 一関市萩荘字中 まち 町73-1	03209	NE96- 2056	38° 55' 29"	141° 6' 51"	20200807	25.2㎡	個人住宅
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
	散布地	縄文	柱穴	なし	発掘調査実施			
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ほねでらむらしうえん 骨寺村荘園	いちのせきしげんびちようあざ 一関市巖美町字 こまがた 駒形87	03209	NE72- 2283	38° 58' 34"	140° 57' 8"	20200904	28.0㎡	浄化槽設置
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
	その他の 遺跡(荘 園)	縄文、平安、中世、 近世、近代	なし	なし				
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
おおだいら 大平	いちのせきしこぜんじあざ 一関市狐禅寺字 おおだいら 大平125-4	03209	NE87- 1265	38° 55' 59"	141° 10' 9"	20201109	28㎡	草地造成
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
	散布地	縄文、平安	なし	なし				
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
うすぎぬじょう 薄衣城 よねくらだて (米倉館)	いちのせきしかわさきちよううす 一関市川崎町薄 ぎぬあざはた 衣字畑の沢141-5	03209	OE19- 0129	38° 53' 19"	141° 16' 18"	20201209 ~ 20201211	104㎡	農地整備
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
	散布地	縄文	なし	なし				

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
いたくら 板倉	いちのせきしだいとうちようざる 一関市大東町猿 さわあざいたくら 沢字板倉53-13	03209	NF50- 2064	39° 1' 58"	141° 17' 42"	20181210	1.7㎡	携帯電話 無線基地
		種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
		散布地	縄文、平安	なし	なし			
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
げんばち 源八	いちのせきしだいとうちようすり 一関市大東町摺 さわあざどうめき 沢字百目木194-1	03209	NF71- 0157	38° 59' 48"	141° 20' 52"	20210316	288.8㎡	太陽光パ ネル
		種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
		散布地	縄文	なし	なし			
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ものみいし <sup>2</sup> 物見石II	いちのせきしせんまやちようおく 一関市千厩町奥 たまあざものみいし 玉字物見石22-7	03209	NE82- 1055	38° 57' 44"	141° 23' 18"	20210309	48.0㎡	太陽光パ ネル
		種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
		散布地	縄文	なし	なし			
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
がぎゅうだて 臥牛館 ふくぎゅうだて (伏牛館)	いちのせきしやまのめあぎ 一関市山目字 なて 館46-1	03209	NE96- 0194	38° 56' 24"	141° 7' 25"	2020 0516	不明	埋設基礎 撤去
		種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
		城館跡	中世末	なし	なし			
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
こいしなざわふるだて 小石名沢古館	いちのせきしやまのめあぎ 一関市山目字 さんたんた 三反田212-2、 212-4	03209	NE96- 1183	38° 55' 56"	141° 7' 20"	20200609	6㎡	個人住宅
		種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
		城館跡 擬定地	中世末	なし	なし			

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
こいしなざわふるだて 小石名沢古館	いちのせきしやまのめあぎ 一関市山目字 さんたんだ 三反田73-3	03209	NE96- 1183	38° 55' 56"	141° 7' 20"	20200907	8.5㎡	個人住宅
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
	城館跡 擬定地	中世末	なし	なし				
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
せんまやじょう 千厩城 ちやうすだて (茶臼館)	いちのせきしせんまやちよう 一関市千厩町 せんまやあぎだてやま 千厩字館山50	03209	OF00- 0359	38° 55' 3"	141° 20' 17"	20200623 ～ 20200831	40.1㎡	下水道接 続・浄化槽 撤去
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
	城館跡	中世	なし	なし				
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
つきまち 月町	いちのせきしあこぎあぎつき 一関市赤荻字月 まち 町63-3	03209	NE95- 038	35° 41' 25"	139° 45' 58"	20200713 ～ 20200716	9.8㎡	下水道管 埋設
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
	散布地	平安	溝跡	陶磁器	発掘調査実施			
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しちろうごろう 七郎五郎	いちのせきしふじざわちようきの 一関市藤沢町黄 なあぎあまつつみ 海字天堤249-3	03209	OF20- 2006	38° 50' 58"	141° 17' 38"	20200714	17.6㎡	個人住宅
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
	散布地	縄文	なし	なし				
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ほねでらむらしやうえん 骨寺村 荘園	いちのせきしげんびちようあぎ 一関市巖美町字 こまがた 駒形145	03209	NE72- 2283	38° 58' 27"	140° 57' 4"	20200716	3㎡	浄化槽設 置
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
	その他の 遺跡(荘 園)	縄文、平安、中世、 近世、近代	なし	なし				

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
		市町村	遺跡番号										
のなか 野中	いちのせきしあこぎあざまつ 一関市赤荻字松 木231-2	03209	NE95- 1386	38° 55' 54"	141° 6' 8"	20200828	4㎡	個人住宅					
									種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
									散布地	弥生	なし	なし	
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
		市町村	遺跡番号										
		おほどうじ 大洞地	いちのせきしだいとうちょうしよ 一関市大東町洪 たみあざおほどうじ 民字大洞地54-2、 54-4、54-9、55-1	03209	NF61- 0091	39° 1' 24"	141° 20' 29"	20201026	2.5㎡	水路設置			
種別	主な時代										主な遺構	主な遺物	特記事項
散布地	縄文、古代近世										なし	なし	
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
		市町村	遺跡番号										
		はたけなか 4 畑 中IV	いちのせきしだいとうちょうおお 一関市大東町大 はらあざあきこめまえ あざ 原字朝米前18、字 すぎもと あざかみおほら 杉本31、字上大原 しも 下160、196	03209	NF62- 0254	39° 1' 33"	141° 24' 42"	20191024	6.5㎡	歩道設置			
種別	主な時代										主な遺構	主な遺物	特記事項
散布地	縄文										なし	なし	
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
		市町村	遺跡番号										
		うちだて 内館 まつかわじょう (松川城・ くろみだて 久瑠美館)	いちのせきしひがしやまちょう 一関市東山町 まつかわあざたて 松川字館68-6	03209	NE89- 2045	38° 57' 15"	141° 15' 11"	20201127	12.0㎡	道路拡幅			
種別	主な時代										主な遺構	主な遺物	特記事項
散布地	縄文、中世										なし	なし	

岩手県一関市埋蔵文化財発掘調査報告書第45集

## 市内遺跡調査報告書

－令和2年度試掘調査・工事立会－

発行年月日 令和8月3月23日

編集・発行 一関市教育委員会文化財課  
〒029-3105  
岩手県一関市花泉町涌津字一ノ町29  
電話 (0191) 82-2242

印刷 コンカツ印刷有限会社  
〒021-0021  
一関市中央町一丁目7-16  
電話 (0191) 48-5963